

メディアセンター年報

2010 年度

＜創刊号＞

巻 頭 言

メディアセンター長 日向野 幹也

この報告書は本来であれば毎年発行されることになっているそうであるが、諸般の事情で昨年度は発行に至らなかったため、今回の報告のカバーすべき期間はちょうど私のメディアセンター長在任期間の二年間にちょうど重なることになった。あつという間の二年間であったが、その間にメディアセンターの業務に関連して感じたことをいくつか述べて巻頭言の代わりとしたい。

(1) WiFi (学内無線 LAN)

今年度から池袋キャンパスで WiFi がほぼ全域で本格的に使えるようになり、来年度には新座キャンパスでもサービスが開始される。これは教育上とても大きな意味を持っている。というのは、従来から立教大学では、大学側が用意するパソコン 1 台あたりの学生数が多く、学生がキャンパス内で十分に ICT を活用できていないことが課題であった。ところが、軽量化・低価格化したノートパソコンとスマートフォンの劇的な普及、さらに学内 WiFi の整備によって、パソコン教室に行って机上のパソコンを使うよりも、個人所有のパソコン・スマートフォン・タブレット端末を大学に持ち込んだり、大学からノートパソコンを借り出して学内 WiFi でネットに繋ぐことの方が便利になった。私は、学内 WiFi の整備によって、「大学の用意するデスクトップ端末の台数÷学生の人数」という数字の重要性は少なくとも相対化し、教育上の ICT インフラ整備の課題の重点はむしろ例えば、学生同士が集まって議論しながらネットも使い、共同学習できるようなスペース（アクティブ・ラーニング・スペースと呼ばれることもある）の拡充へと移動したと考えている。アクティブ・ラーニング・スペースについて言えば、WiFi のおかげで、そうしたスペースにいちいち有線のアクセスポートを作らなくてもよくなったことは有利な条件であろう。

もちろん、そうした便益を享受するためには多くのモバイルアクセス端末が必要で、大学としては当面貸し出し用ノートパソコンを拡充していくことは必要であろう。ただ、iPad のようなタブレット型端末の価格が下がり続けているので、用途によってはこの貸し出しサービスはいずれ要らなくなる可能性はある。

(2) リテラシーと倫理

キャンパスでも常時インターネットにアクセスできるとなると、今後ますます重要になると思われるのは、学生や教職員が、インターネット上でトラブルに巻き込まれたり、トラブルを引き起こしてしまわないようにエチケットや護身術を共有することである。この点は教職員よりもデジタルネイティブの学生の一部のほうがおそらく感度が高い面もありそうでもあり、逆に学生は（在来の）社会規範や法律については学び始めたばかりの立場にある。その意味では教員が教室で一方的に教壇から教え込むような情報倫理教育では不十分で、学生と教職員がともに学び合うようなプログラム設計が望まれる。すなわちアクティブラーニング（学習者中心の教育）であ

る。うまく設計・運用すれば、このプログラムによって大学が享受するメリットは小さくないと思われる。

(3) インフラと「ソリューション」

WiFiの話に戻るが、そもそも立教大学では、WiFiはどうして大学のインフラストラクチャーとして整備されるに至ったのだろうか。それはいつでもどこでもインターネットに接続できることの重要性、特に「ネットで検索」することの重要性・利便性が、教育面でも認知されてきたからというのが一番大きいだろう。その意味ではグーグルなどの検索サービスのインパクトの大きさはいくら強調しても強調されすぎることではない。インターネットに接続することの目的が、eメールのやりとりだけだったり、あるいは趣味や楽しみのためのウェブサーフィンだけだったならば、巨費を投じてキャンパスにWiFi網を整備する理由にはならない。「いつでもどこでもネットに繋げることが教育的に望ましいのだが、現状はそうっていない」という問題への現代的な「ソリューション」が無線LAN接続ポイントをインフラとしてキャンパス全域に設置することなのである。

これに比べると、「教育でのICT活用促進」のために採用が検討されてきた「ソリューション」群は、そもそもどういう問題を解くためのものかが忘れられがちである。例えば「クリッカー」と呼ばれる、授業内でリアルタイムでアンケートをとるシステムがある。これは何の「ソリューション」であるかという、大人数の授業をインタラクティブに行ないたいが、うまくできないという問題への一つのソリューションである。ソリューションが提示されて、それが個々の教員に実際に採用するかどうかを個々の教員に任せるのであれば、採否は各教員にとっての費用対効果によって決まる。もともとインタラクティブに授業を行っていた教員にとっては、アンケートを口頭での問いかけから文字に落としこむだけであるから費用はまあまあ低いと言えるだろう。しかしインタラクティブに授業を行っていない、あるいは行う必要を感じていない教員にとっては費用は極めて大きいし、さらにはまた、そんなシステムを使わなくても口頭で十分にインタラクティブに行えていると考える教員にとっても費用対効果は高くない。

つまり、インタラクティブに授業を行ないたいがうまく行っていないという「問題」を共有できて初めてクリッカーが「ソリューション」になるのである。ところが、最初にクリッカーがあって、「さてこれをどういうふうに使えますかね」と相談して、「では使ってくれる先生を探そう」ということでは、既にインタラクティブに授業を何かの形で行っていて、しかもガジェット好きであるという極めて少数の教員しか見つからず、しかもそこで成果が上がったからといってその成果が共有されたり、まして顕彰されたりということが無ければ、他の教員への波及効果も限定的にならざるを得ない。つまり、「授業をインタラクティブに行おう」というミッションが教員間で共有され、「現状では、大人数の教室では障害がある」という問題があり、それを解くソリューションの一つとしてクリッカーが用意される、という順序でなければならないはずである。その意味では「教育でのICT活用促進のため」という最初の設定が既に転倒しているとも言える。ほとんど全く同じことがLMS（Blackboardのような学習支援システム）、eラーニング、e

ポートフォリオそれぞれについてもあてはまるのではないか。

何が問題であるかを共有しないうちに「ソリューション」を提示するという傾向は、企業や大学に対して ICT 機器やソフトウェアを販売しようとする企業の戦術に影響されたものかもしれないが、しかしその売り方はソリューション営業やコンサルタントとしても間違っているのではないかと思う。

(4) 他大学との協力

慶應義塾大学、法政大学、明治大学、立教大学、早稲田大学の ICT 担当部局で構成して情報を交換しあう「大学情報サミット」では、他大学のかかえる ICT インフラ運営上の問題をお互いに共有して、励まされたり、学んだり、とても収穫が多かった。その後、別の機会に国立大学を含めた十数校の CIO が集う会合にも出席する機会を得て、そこでも非常に有益なお話をうかがうことができた。特に、独立法人化した後の国公立大学の ICT インフラ整備と運用の様子は、費用分担やメンテナンス分担のしかたからして、とても異なっているように思えた。こうした場に出席することで自校の課題や強みを知ることができるし、相談相手も見つけることができる。ICT 活用は上にも述べたようにミッションではなくてソリューションに過ぎないにもかかわらず、革新が早く、採用するとなると投入するリソースの規模が大きく、またセキュリティの問題もふくんでいるので、高次の大学経営の視点からの密接な関与とコントロールが重要と思われる。

(追記) 上記は 3 月上旬に書いたものである。3 月 11 日からは東日本大地震とその対応に追われた。現状では池袋キャンパスは計画停電の外にあるが、新座キャンパスは既に範囲内であり、池袋も近い将来対象になる可能性もある。節電のために IT 関係の各種インフラの優先順位を大学全体の見地で決定したり、上記 3)や 4)の問題解決のために、研究教育系と事務系の IT インフラ全体を統括する小規模組織の必要性が高まっているように思われる。

- 目次 -

巻頭言

メディアセンター長 日向野幹也	・・・・・・・・・・ P1
-----------------	---------------

1. トピックス

無線 LAN 環境の整備	・・・・・・・・・・ P8
ラーニングスペース端末の設置	・・・・・・・・・・ P9
Blackboard 機能拡張	・・・・・・・・・・ P10
オンデマンド授業運営	・・・・・・・・・・ P11
迷惑メール（スパム）対策	・・・・・・・・・・ P13
教室 AV 設備更新および支援状況：池袋	・・・・・・・・・・ P15
社会情報教育センター（CSI）開設	・・・・・・・・・・ P19

2. 寄稿

WS2003・NW 環境を用いた情報セキュリティ学習	・・・・・・・・・・ P22
----------------------------	----------------

3. 報告

メディアセンター事業概要	・・・・・・・・・・ P28
2010 年度メディアセンター事業報告	・・・・・・・・・・ P29
2011 年度メディアセンター事業計画	・・・・・・・・・・ P32
メディアセンター年間スケジュール	・・・・・・・・・・ P34
教室 AV 設備整備：池袋	・・・・・・・・・・ P35
大学情報サミットの活動内容紹介	・・・・・・・・・・ P38
学外研修・セミナー	・・・・・・・・・・ P39

4. 点検・評価

メディアセンター自己点検・評価報告	・・・・・・・・・・ P42
-------------------	----------------

5. 資料

メディアセンター要員構成	・ ・ ・ ・ ・ P46
ネットワーク環境利用状況	・ ・ ・ ・ ・ P48
PC 環境利用状況：池袋	・ ・ ・ ・ ・ P49
PC 環境利用状況（教室）：池袋	・ ・ ・ ・ ・ P50
PC 環境利用状況（貸出）：池袋	・ ・ ・ ・ ・ P51
AV 環境設置、貸出し状況：池袋	・ ・ ・ ・ ・ P52
サイバーラーニング環境利用状況（ホームページ）	・ ・ ・ ・ ・ P55
サイバーラーニング／CHORUS 登録件数推移	・ ・ ・ ・ ・ P56
SPIRIT Mail 利用者数	・ ・ ・ ・ ・ P57
CHORUS 利用状況	・ ・ ・ ・ ・ P58
PCLL 利用／運用状況	・ ・ ・ ・ ・ P64
PC トラブル状況（PC 教室）：池袋	・ ・ ・ ・ ・ P65
AV トラブル、サポート状況：池袋	・ ・ ・ ・ ・ P66
その他サポート状況：池袋	・ ・ ・ ・ ・ P73
情報企画委員会記録	・ ・ ・ ・ ・ P74
アンケート調査	・ ・ ・ ・ ・ P77

1. トピックス

無線 LAN 環境の整備	．．．．． P8
ラーニングスペース端末の設置	．．．．． P9
Blackboard 機能拡張	．．．．． P10
オンデマンド授業運営	．．．．． P11
迷惑メール（スパム）対策	．．．．． P13
教室 A V 設備更新および支援状況：池袋	．．．．． P15
社会情報教育センター（CSI）開設	．．．．． P19

無線 LAN 環境の整備

2009 年 4 月より池袋キャンパス内 5 ヶ所の建物で屋内無線 LAN サービスを開始した。

多種多様な無線 LAN システムのなかで選定にあたり、教室での利用を想定し、アクセスポイント 1 台に対して多数のクライアントが接続してもより安定した通信が行える機器を導入するため、実際に教室で数十台のクライアントを設置し接続試験を行った。外来波の影響を確認し、同一環境下にて CISCO、Aruba、シングル・チャネルの Meru で動作試験を実施する。

ユーザの使用面では、多くの商用サービスでウェブ認証が採用されているがスマートフォンなど小型モバイル端末での接続を考慮し 802.1x 認証を可能とした。これにより利用者数も増え、無線 LAN エリア外での要望も高まる。

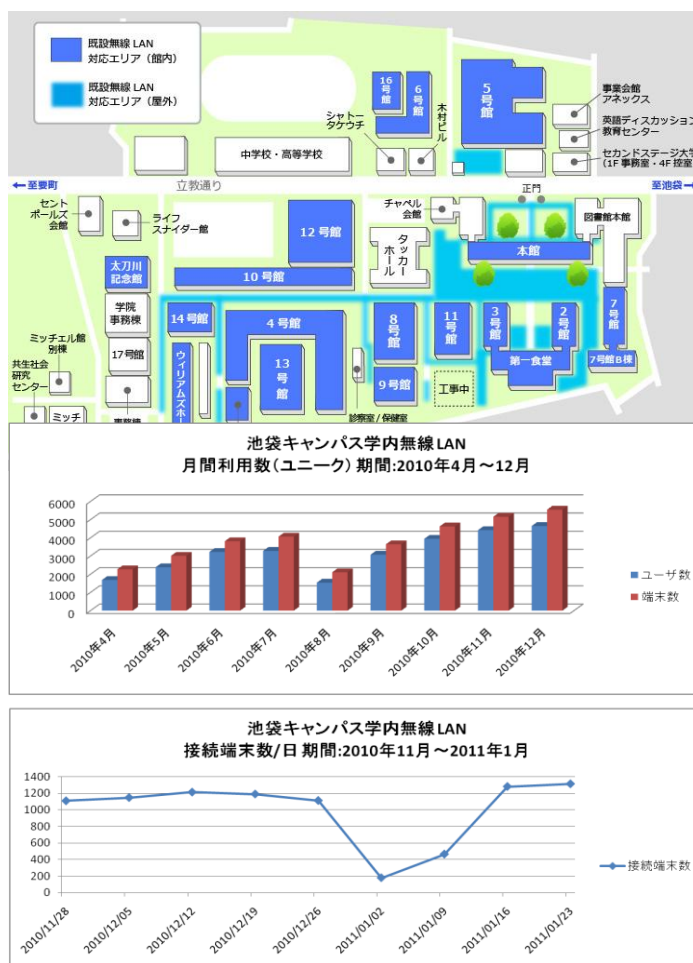
翌年 2010 年 4 月中旬、それまでの 5 ヶ所（8 号館、10 号館、11 号館、12 号館、14 号館）に加え、屋内無線 LAN サービスを拡張する。

○拡張エリア

本館、2 号館、3 号館、7 号館、7 号館 B 棟、太刀川記念館、第一食堂、5 号館、6 号館、16 号館、4 号館、9 号館、13 号館、ウィリアムズホール

シンポジウムなど学内施設で学外者への無線 LAN 提供にはゲストアクセスの仕組みを用意、あらかじめ場所や時間の利用予約が必要だが、すでに数件の利用実績もあり、好評である。

2010 年度末には、新座キャンパスの新棟でサービス開始予定。利用者は両キャンパスで共通の設定にて利用することが可能となる。



ラーニングスペース端末の設置

立教大学ではこれまで5号館1階、8号館1階、3階、4階、5階に学生が自由に利用できるパソコンを常設したラーニングスペースを整備してきた。本年度は8号館2階のスペースにMacを12台設置した。ラーニングスペースに設置されてきたパソコンはこれまで全てWindowsであったが、初めてMacが導入された。

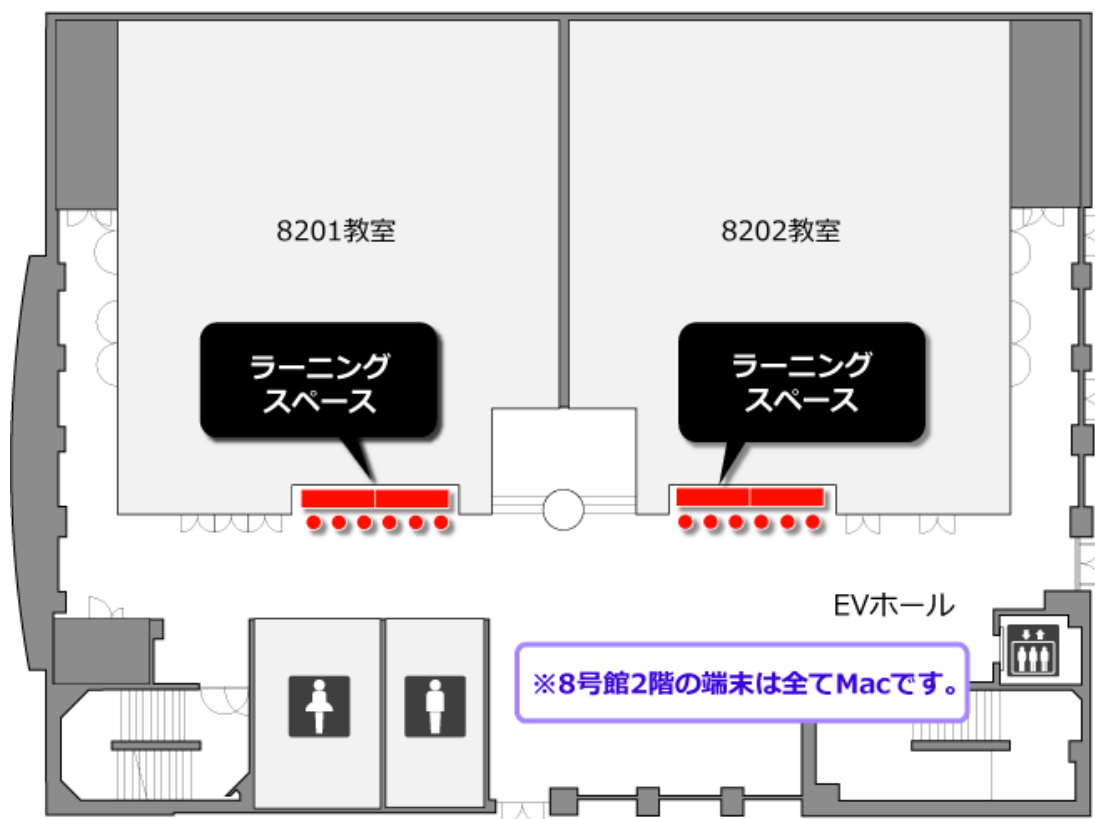
導入当初は利用率がどの程度あるかが気がかかりであったが、満席になっていることも多く、十分に活用がされていると言える状況である。

また、昨年度末であるが、14号館1階エントランスのスペースとウィリアムズホール2階にもそれぞれ2台、8台のパソコンが設置され、利用されている。

特に14号館はこれまでのラーニングスペースと違い、グループワークが可能な仕様になっており、何人かの学生がパソコンを取り囲み、話し合いながら資料作成している光景をよく見かける。ウィリアムズホールも1階に部室があり、2階はコモンスルームという位置づけだが、このような場所に気軽に利用できるパソコンがあるのは、既存のラーニングスペースとは違った利用シーンで活用がされているのではと感じている。

また、複合棟2の竣工に伴い、本年度末には33台のパソコンが更に追加される見通しであり、学生の利便性向上にこれからも寄与していきたいと考えている。

<2010年6月に設置したMacのラーニングスペースご紹介（8号館2階）>



Blackboard 機能拡張

1.目的および背景

本学では 2009 年度のパイロット導入を皮切りに、現行の授業支援システム CHORUS と並んで Blackboard が稼働している。本年度は Blackboard の機能拡張として「出席管理」、「CHORUS 連携（およびコース一覧の追加）」という 2 つの機能を追加した。

はじめに「出席管理」であるが、Blackboard はもともと海外パッケージということもあり、出席管理機能を標準で保持していない。このため、現在 CHORUS で利用されている出席管理機能を Blackboard でも利用できるよう機能実装を行なった。

「CHORUS 連携」については、現在のように授業支援システムが 2 つ存在している現状を踏まえ将来も見据えながら、CHORUS へのログイン方法として Blackboard からのログイン環境も用意しておくことにより Blackboard の認知度を高めていき、CHORUS とのシームレスな連携を可能とした。これにより Blackboard ログイン後は改めてログインの必要なく CHORUS を利用することができる。

2.出席管理機能のご紹介

本機能を利用することにより、教員は以下のことが可能である。

- ・ 担当するコースの出席データを一覧で参照する
- ・ Blackboard の画面上で出席データを変更する
- ・ 担当クラスの出席データのエクスポート、インポートを行なう
- ・ 出席データの一括登録を行なう

本機能を利用することにより、学生は以下のことが可能である。

- ・ 受講しているコースにおける自身の出席データを一覧で参照する

教員は現在の CHORUS で行なっているのと同様に、バーコードリーダーで読み取った出席データを Blackboard へ取り込みを行なうことにより、授業支援システム上で出席管理を行なうことができる。

3.CHORUS 連携機能のご紹介

CHORUS へログインする場合に、CHORUS ログイン画面からログインを行なう以外に Blackboard にログインすれば、その中の [CHORUS へのリンク](#)をクリックすることにより CHORUS へのログイン手続きが別途不要な自動連携する仕組みを構築した。

オンデマンド授業運営

これまで本学におけるオンデマンド授業は、早稲田大学が中心となって進められている「オンデマンド授業流通フォーラム（以下「フォーラム」という）」の中で、インターネット上で開講されるオンデマンド授業を相互に受講し、大学間の交流を図ることを目的として運営されてきた。

本学は、2003年度末のフォーラム設立当初から参画し、2004年度から2007年度まで毎年度1科目計4科目のオンデマンド授業を制作した。これは、本学の教育実績の一つとして挙げるができる。しかし、費用対効果を考慮したうえでオンデマンド授業を有効に機能させるには、相当程度の科目展開、インフラおよび支援体制の整備、ノウハウの蓄積などが前提となることから、多くの大学では、いまだ試行錯誤の段階に留まっており、同フォーラムの設立目的でもあるオンデマンド授業を通じた大学間での相互交流は、十分には拡がりをみせていない状況が続いていた。

本学でも、2008年度に横浜創英短期大学、2009年度には江戸川大学との交流を中止したが、2009年8月、これまで相互交流を続けてきた早稲田大学からも、財政的な理由のため、2010年度より相互交流を中止したいとの申し入れがなされた。

このように、オンデマンド授業における状況が大きく変化しており、本学としては今後、大学間の交流を図ることを主な目的としたフォーラムの枠組みを離れ、これまで蓄積したノウハウを活かし、独時に展開していく必要がでてきたため、2010年度のオンデマンド授業運営については下記の通り実施された。

1. 基本的な考え方

- 1) 早稲田大学との相互受信・配信中止により、フォーラムの中では他大学との交流がなくなったため、その枠組みを離れ、本学独自に展開。
- 2) これまで本学にて作成した4科目に加え、2009年度に社会情報教育研究センター設置準備室の事業として作成された4科目をオンデマンド授業として開講し、計8科目を全カリ総合科目として設置。
なお、新規作成された4科目の原資は、「教育研究高度化のための支援体制整備事業（補助金）」より支出された。
- 3) 上記8科目は立教大学のみ配信。

2. 2010年度前期の履修状況（単位：人）

科目名	定員	申請者	履修者	制作年度
青年期の自我と恋愛	100	387	100	2004年度
聖書考古学入門	100	206	100	2007年度
社会調査入門	200	187	187	2009年度
データ分析入門	200	144	144	2009年度

3. 2010 年度後期の履修状況（単位：人）

科目名	定員	申請者	履修者	制作年度
平和と安全保障	1 0 0	2 1 5	1 0 0	2005 年度
茶・虎そして人	1 0 0	1 9 2	1 0 0	2006 年度
社会調査の技法	2 0 0	1 9 1	1 9 1	2009 年度
データの科学	2 0 0	1 1 5	1 1 5	2009 年度

4. オンデマンド授業配信システムについて

既存 4 科目は、これまで同様早稲田大学の Course N@vi を利用し、新規 4 科目については、株式会社早稲田総研インターナショナルが運営する QuonJuku を利用した。

5. 授業コンテンツ制作状況

2010 年度は 2011 年度に展開する予定のオンデマンド授業開講科目として「多変量解析入門」のコンテンツを制作した。

6. 筆記試験の実施について

「社会調査入門」、「データ分析入門」、「社会調査の技法」、「データの科学」については、成績評価方法・基準に筆記試験が含まれるが、その実施に当たっては、池袋・新座の両キャンパスで同一日・同一時間・同一問題で行うこととし、履修者は各所属キャンパスで受験するという措置とした。また、受講会場を間違えた場合等については、同一科目・同一担当者科目のルールを準用することとした。

迷惑メール（スパム）対策

1. 背景

立教大学では2004年度から迷惑メールの急激な増加傾向がみられ、利用者からの問い合わせが日増しに増えていた。メディアセンターでは対応策をメールやホームページ等でお知らせするものの、事実上利用者側での手当では限界があり、ユーザの多くが日々迷惑メールに悩まされていた。

2. 迷惑メール対策の実施

次年度からの対策システム導入を目標に検討をはじめ、いくつかのソリューションで効果を確認。2005年6月、アンチスパムアプライアンスの運用を開始する。

2011.05 メール受信数は一日あたり 440,000 通(約 95%が SPAM)

2010.12 学内から学外への通信について OP25B (Outbound Port 25 Blocking) 実施

2010.10 - NEWS - 1 日 500 億通 世界最大の迷惑メール業者摘発

2010.10 メール受信数は一日あたり 300,000 通(約 90%が SPAM)

2008.12 - NEWS - 「特定電子メールの送信の適正化等に関する法律（特定電子メール法）」と「特定商取引に関する法律（特定商取引法）」が改正

2008.11 - NEWS - 迷惑メール送信事業者接続を、ISP が遮断し一時的に 4 分の 1 程度に急減

2008.07 SPF (Sender Policy Framework) レコードを追加

2008.04 IronPort (メールセキュリティアプライアンス) 運用開始

V-Campus 4th スタート

2008.03 Barracuda 、sms 運用終了

2007.10 メール受信数が一日あたり 680,000 通に増加

2007.02 メール受信数が一日あたり 350,000 通に増加

2006-2007 - NEWS - 大手 ISP が OP25B を実施

2006.09 - NEWS - 2 年間で 150 億通のスパムメールを送信していた組織を摘発

2006.06 メール受信数が一日あたり 70,000 通に減少(約 60～70%が SPAM)

2006.03 sms (Symantec Mail Security 820) 導入

2006.01 新たなスパム対策(日本語スパムに強いソリューション)を検討開始。

2005.12 メール受信数が一日あたり 100,000 通に増加

2005.07 立教大学が受け取るメールの総受信数は、一日あたり約 50,000 通

2005.06 Barracuda Anti Spam アプライアンス運用開始

2004.06 迷惑メールが過去数ヶ月で急増。ユーザからの問い合わせ多数。

2004.04 V-Campus 3rd スタート

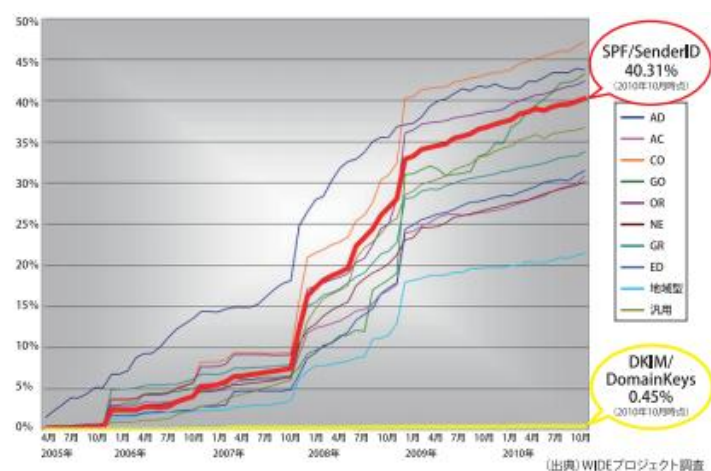
3. 参考資料

「メッセージラボ インテリジェンス 2010 年 6 月度レポート」

No	業種	Rate
1	教育部門	95.2%
2	エンジニアリング部門	91.6%
3	自動車部門	91.2%
4	卸売部門	88.1%
5	他	87.7%
6	非営利団体	87.6%
7	不動産業部門	87.5%
8	鉱物燃料部門	87.3%
9	専門サービス部門	87.2%
10	小売り部門	87.0%
11	政府・公共部門	86.9%
11	運輸・公益事業部門	86.9%
13	製造部門	86.5%
14	一般サービス部門	85.9%
15	マーケティング・メディア部門	85.6%
16	不明	85.2%
16	ITサービス部門	85.2%
18	化学・製薬部門	84.9%
19	建築部門	84.8%
20	金融部門	84.5%
21	宿泊施設・ケータリング部門	84.0%
22	レクリエーション部門	83.5%
22	医療サービス部門	83.5%

【日本国内における業種別のスパム率(攻撃が多い業界から順に記載)】

「迷惑メール対策推進協議会 資料」



送信ドメイン認証技術に関して、.jpドメインでの送信側の導入状況についての調査では、ネットワーク方式の送信ドメイン技術(SPF/SenderID)は、全体で約40%のドメインで導入されており、co.jpでは、45%超のドメインで導入されているなど、一定の普及が進んできていることがわかります。電子署名方式の送信ドメイン認証技術(DKIM)については、現時点で、約0.5%のドメインで導入されています。

4. 今後の課題

ユーザ毎のブラックリスト、ホワイトリスト設定の要望が多く、システム側での柔軟な追加も現状困難であることから、これらの機能の実現を目指す。また、隔離ボックスやタグ付けによる処理の選択もエンドユーザによりコントロールできることが望ましいため、引き続き対策を検討していく。

教室 AV 設備更新および支援状況（池袋キャンパス）

1、 AV 機器設置教室

2004 年から 2010 年にかけて教室数は 27 カ所増え、教室としては現在 193 存在する（タッカーホールを含む）。そのうち 7 号館 B 棟 15 教室と、8 号館 5PC 教室以外、全教室に AV 機器を設置した。7 号館 B 棟も教室外倉庫に 8 台の AV ラックを設置し、必要に応じて利用できるようになっている。

この数年間でパソコンを用いた教材や資料の活用が普及したため、プロジェクター利用は増え、RGB 入力が必須となった。そのため老朽化した AV ラック型は簡易操作卓型または改良 AV ラック型へ、テレビ型は大型モニター型へと改修を進めた。その結果、本館 9 教室（テレビタイプ）を除く全教室でパソコン画面の投影が可能となった。本館も本年改修が予定されているので、これで全教室、マルチメディア教材の利用は可能となる。（資料：AV 環境設置、貸出し状況 図 1、表 1）

それでは実際に AV 機器はどれぐらい利用されているか。2010 年 10 月 4 日からの 1 週間と 11 月 29 日からの 1 週間、毎時間ごとに AV 利用鍵の貸出し状況を調べて、その平均からおおよその傾向をみた。全体では授業に対して AV 機器の利用率は 43% だった。機器の利用が 50% 以上あるのは 32 教室。そのうち操作卓は 14 教室、簡易操作卓は 5 教室、AV ラック型は 13 教室だった。

2、 AV 機器の貸出し状況

2008 年まで年々増加していた機器貸出しが、2009 年後期は減少した。ノートパソコンの貸出しがほぼ半数に減少したためである。これは 2009 年夏に、これまで操作卓型および簡易操作卓型にのみパソコンが設置されていたのが、AV ラック型にまで拡大して設置されたことによる（一部大型モニター型とワゴン型を含む）（資料：AV 環境設置、貸出し状況 図 2、3）。特に定期貸出しでは 80% 減少した（資料：AV 環境設置、貸出し状況 図 5）。

ところが 2010 年前期では 30% 増加した。これはサポートの項で述べるが、教室に設置されたパソコンがシンクライアントのために様々なトラブルを起こしたため、かわりに従来通り、貸出しパソコンが利用されたからである。しかし後期は是正により再び減少し、パソコン導入前に比べ、全体で 50%、定期貸出しでは 90% 以上減少した。

パソコンとは逆に貸出しが増えたものは、デジタルビデオカメラ、IC レコーダー、DVD プレーヤーである

デジタルビデオカメラは英語ディスカッションセンターの要請を受けた「Teacher Observation」のプログラムが実施されたことと、キャリアセンターの就職支援プログラムの実施が多かったためである。

IC レコーダーはカセットテープに変わり、録音のツールとして人気が出てきた。
DVD はサポートの項で述べるが、メディアの多様化によるものである。

3、 管理およびサポート状況

機材トラブルは 2009 年後期をピークに減少傾向にある（資料：AV トラブル、サポート状況 図 1、4）。しかし 2009 年後期は先に述べたシンクライアントによるトラブルが多発した。内容は

- ・ 起動が遅い
- ・ ID とパスワードの入力が必要である
- ・ 起動前に RGB、LAN ケーブルおよび電源アダプターすべてを接続する必要がある
- ・ DVD を再生できない、動画を再生できない

等であった。そのため、

- ・ 全パソコン設置教室に接続方法を示す簡易マニュアルを表示する
- ・ 教室案内ホームページでも使用方法を見られるようにする
- ・ 機器や鍵に表示をする

等で注意を喚起した。また、2010 年後期から

- ・ ID、パスワードの入力が不要になった

その結果、トラブル、サポートは減少した。

プロジェクターは改修がすすみトラブルは減少しつつあるが、プロジェクターの使用頻度の多さからランプの消耗が速くなったこと、老朽化したプロジェクターが度々トラブルを繰り返すことなどで 2010 年は若干増加している（資料：AV トラブル、サポート状況 図 1、4）。

AV タイプ別では操作卓、簡易操作卓、AV ラック型でトラブル発生回数は同じくらいであるが、教室数から考えると操作卓、簡易操作卓がやや多くなる。操作ミスは操作卓と AV ラックが多くなり、簡易操作卓は少ない。操作卓は機能がありすぎて使用が煩雑、AV ラックはパソコンの接続が困難、簡易操作卓と大型モニターは操作しやすい、といえる（資料：AV トラブル、サポート状況 図 4、5、7、8）。

機器別ではサポートが増えているのは DVD とブルーレイプレーヤーである。

- ・ 再生形式がビデオモードではない
- ・ ファイナライズをしていない
- ・ 教室設置の DVD またはブルーレイプレーヤーが対応していない
- ・ 地デジ録画した（CPRM）

等である。

- ・ 再生可能な DVD またはブルーレイプレーヤーを持ち込む
- ・ 形式を変換する。
- ・ ファイナライズする

- ・ホームページに教室ごとに再生可能なメディアをのせる

等に対応している。現在 CPRM 対応機は 107 教室、ブルーレイプレーヤーは 55 教室に設置している。ブルーレイプレーヤーでも SONY では再生できないものもあり、過渡期にある今、教室のプレーヤーを一斉に変えるにはリスクがあるので、今後も情勢を見て暫定的に対処していくこととなる。

2010 年度は 14 号館でマイク音が出ない、操作卓型の大教室でノイズがする等のトラブルが起きた。学生部から入試時の音の影響を示唆され、徹底的に調査した結果原因が特定できた。

AV 機器は校舎が建設され、内装が終わった後に取り付けるため、他の敷設ケーブル類の影響を受けやすいことが判明した。今後新棟建設においては工事途中でケーブルの状況を確認させてもらえるよう、要請した。

また既存の教室では、ケーブル工事は不可能なので、レベル調整でノイズ軽減に努めた。

4、 支援状況

2010 年度サポート合計は 775 件、うち授業支援は 444 件、学会講演会等は 331 件となっている。授業は前期授業開始の 4 月が圧倒的に多く、次いで後期授業開始の 9、10 月となる。学会講演会等は後期 10～12 月が多くなる（資料：AV トラブル、サポート状況 図 9）。

2010 年度支援が多かったものは

- 1、 英語ディスカッションセンターの Teacher Observation
- 2、 経営学部 BL2 他
- 3、 キャリアセンターの就職支援プログラム
- 4、 全カリ 英語授業
- 5、 異文化コミュニケーション学部 講演会他

となっており、いずれもデジタルビデオカメラおよび教室内カメラでのセッティングと録画を主に支援した。

2007 年後期より、改修される操作卓型教室には教室内カメラを設置している。初期には認知度が低くあまり利用されなかったが、最近では一度利用すると機材の設置、撤収、撮影の煩わしさがなく、撮影のための人員を確保しなくてもよいこと、確実に撮影されていることから利用希望が増えている（資料：AV トラブル、サポート状況 図 3、6、表 10 ）。

また 2009 年に太刀川多目的ホールに同時通訳システムが導入された（資料：AV トラブル、サポート状況 表 10）。まだ 4 件の利用にとどまっているが、利用者からは好評を得ているので今後利用は増えそうである。

5、 ダビング

音声録音（全カリ語学のカセットや CD の複製）が減っているので全体の受注数は 60 件ほど減っている。しかし DVD の作成は増えているので、作成数は全体で 100 件ほど増加した。

支援状況の項で述べたように教室内カメラ利用が増えたことにより、
教室内カメラでの録画→HDD に録画→DVD 作成
というパターンが増えた。

これまで持ち込まれるものは教材という前提があったので、ダビング元はあまり精査していなかった。しかし、多種のメディアが持ち込まれるようになり、著作権が厳しく問われるようになった情勢を踏まえ、ダビング受け付け基準を設けた。

- ・コピーガードがかかっているものは受け付けない
- ・授業で使用する教員用の 1 部以外（学生用）はダビングしない
- ・1 件につき最大 20 部までコピー可能、それ以外は業者を紹介

これまで全カリの先生からの依頼で、学生用に複製を作っていたことを全カリに伝え、先生に対処していただけるよう伝えた。

社会情報教育センター（CSI） 開設

1. センター概要

立教大学では、2010年3月に、全学の教育研究支援組織である『社会情報教育研究センター（Center for Statistics and Information.）』（以下「CSI」という）を設置した。メディアセンターはCSIの設置に携わり、現在は事務局を務めている。

CSIは調査技法、情報技法及び統計技法の活用による本学における研究活動の高度化への寄与及び学生に対する研究基礎能力の涵養を目的とし、この目的を達成するため以下の事業を行う。

2. 社会情報教育研究センター事業概要

（1） 調査、情報、統計リテラシー教育プログラムの開発と提供

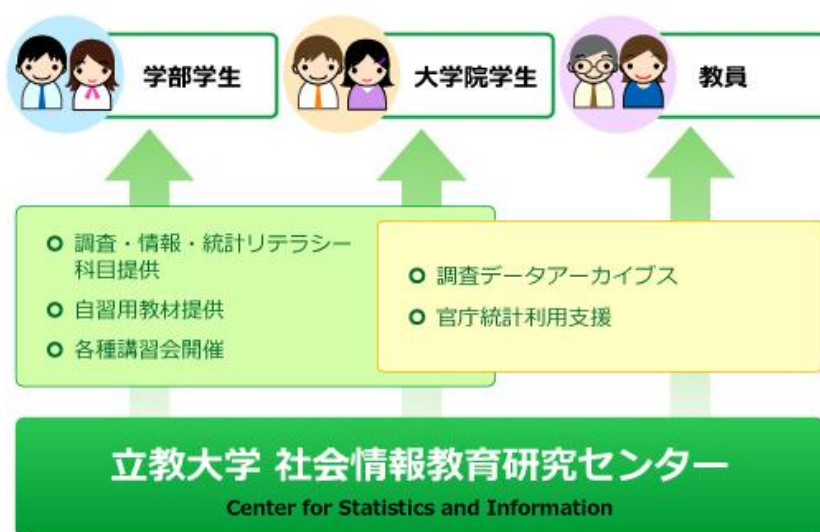
- ① 正課科目の開発と提供 各学部正課における調査、情報、統計関連科目支援
- ② 自習用教材、演習・講義科目補助教材の提供；自習、演習・講義用学習教材の開発
- ③ 社会調査士資格関連科目運営のサポート；申請業務の担当と運営相談
- ④ 各種講習会の開催；学生、教員、職員、一般向けのリテラシー関連の講習会を実施

（2） 研究支援事業

- ① 調査データアーカイブズの構築と運営；量的調査データ・アーカイブの構築と利用
- ② 政府統計利用支援；公的統計の二次利用支援、政府統計の研究教育利用支援
- ③ 調査研究コンサルティング；調査研究の遂行に関する相談業務

（3） 学内調査の企画立案に関する支援：キャリア意識調査等の学内調査に対する支援

（4） その他 CSIの目的達成に必要な事業



2. 寄稿

WS2003・NW 環境を用いた情報セキュリティ学習・・・・・・・・P22

WindowsServer2003・ネットワーク環境を用いた情報セキュリティ学習 ～「Real IT」を実現するメディアセンターの支援～

経済学部 兼任講師 河合博子

1.教育・研究の背景と目的

近年、企業の IT(情報技術)活用目的は、事業・サービスの創造や経営管理の強化へと、過去数年よりももうワンランク上の IT 活用に進んでいる。このことは、IT 専門家が必要というだけでなく、経済・経営系学部出身の社員が活躍する職務において、企業の IT の活用と情報セキュリティ倫理観を身につけた人材が必要となることを意味している。

例えば、「新商品を他社に先駆けていかに迅速に投入していくか」、「業界の変化に対応し、自社で新しいビジネスをいかに展開していくか。」そこから一歩進んで、「IT の活用による変革、ソリューションを提供することで、企業が IT を活用していかにビジネス価値を創出していくか」をセキュリティ基盤の上で求める状況にある。

このように、実務界の IT 活用に対応して、経営・経済系学生に（実情に近い）「Real IT」教育を提供するためには、情報技術や情報利用に関する支援体制が必要不可欠となる。立教大学においては、「メディアセンター」により PC 機器 WindowsServer2003 に関しての技術的サポートだけでなく小規模なネットワーク構築と安全なセキュリティ学習を実現するための様々な指導をいただいていた。その結果、学生の情報セキュリティ意識とおよびキャリア能力開発において成果を挙げてきたといえる。

本稿では、2009～2010 年度の例を取り上げ、授業概要と「Real IT」の実現を支援した立教大学メディアセンター支援の概要を報告する。

2. WindowsServer2003・情報セキュリティ教育のねらい

この授業は、経済学部 3 年次における専門演習である。授業内容は 2003 年から大きく改善されてきている。大学の 3 年次は、経済・会計・経営の専門知識を取得し、就職準備活動を通して、業界動向や企業の業務を知る時期でもある。そこで、情報セキュリティ関連知識と企業の情報活用を仮想的に体験することを中心軸にしながらも、同時にその演習を通じて、専門科目の基礎学力と融合させ、社会人に求められるビジネス能力、主に「問題発見・解決力」「コミュニケーション力」「チームワーク力」を伸ばすことをねらいとしている。

現在の企業組織では、サーバ機能を組み合わせたネットワーク環境で業務が行われており、各業務も事業企画、商品企画、製品開発、販売企画、人事や経理、財務部門等と相互に連携されている。その状況により「Real」に近づけた IT 活用授業は、これまでとは様相を一変する。

3. WindowsServer2003 のネットワーク構築をベースにした授業内容の概要

ここでは、授業のイメージを紹介する。

プラットフォームは、25 台の各 PC (Windows Vista) に、VMware の仮想マシンを搭載し、この上に演習用の WindowsServer2003 をインストールする。学生自身が演習テーマにあわせて各種のサーバ機能を順次設定し、ひとつの企業の情報環境を構築していく。構築した情報環境では、発生しうる企業の情報セキュリティの課題が与えられ、チームメンバーが協働して解決方法を提案する。各グループは、様々なテーマのセキュリティ問題対策を体験していく。また、セキュリティの実例問題を討議し、自ら設定したファイルサーバで部門管理の重要書類を共有し、動画や映像を用いたプレゼンテーションで解決提案を発表することもある。事例課題も暗号化されており、模擬解答は復号すれば入手できるなど、学習プロセスと達成度をグループ間で競い合う。

■この「Real IT」の授業では、4つのステップを踏む。

ステップ1では、前期1~3週を通じて、Windows系OS・VMwareのしくみを実機で理解する。通信トラブルを90%理解できたことを前提に次の学習に進む。

Step1の学習テーマには、次の内容を含む。

①Windows VistaのPC操作とIPアドレスのしくみを理解する。②仮想マシンVMwareを使う。③Windows Server2003のインストールと通信のトラブル対応ができる。

ステップ2では、前期4~10週を通じて、各グループが担当したテーマの理論と仕組みを自習時間に調べてまとめ、クラスで15分の発表を行う。指導教員からは補足説明を受ける。毎回授業の最後に復習テストを行い、90%の理解をめざす。座学の終了日には、個人情報保護法の1級試験相当のテストを行い、情報倫理で80%の理解ができたことを前提に、次のサーバ実機演習に進む。

Step2のグループ学習テーマには、次の内容を含む。

①セキュリティの基礎 ②認証とアクセス管理 ③暗号化とデジタル署名 ④公開鍵基盤⑤攻撃手法と対処法 ⑦ファイアウォール ⑧侵入検知 ⑨コンピュータウイルス⑩ネットワーク機器とセキュリティ機能 ⑪情報セキュリティ PDCA ⑫運用と監査⑬国際標準規格・国内基準・ガイドライン・制度 ⑭関連法規 ⑮個人情報保護法1級レベル試験

ステップ3では、Windows Server2003を使ったネットワーク構築を行う。前期後半と1夏合宿を通じて、講義と実機演習を行う。クラスは、財務・企画・人事・マーケティング部の4つのチームにわかれ、小規模の仮想企業をつくり、PC10~25台でLAN環境を構築する。

ステップ 3 の Windows Server2003 のテーマは以下の内容を含む。

①ネットワークシステム構築のための設計②ルータ・2003 サーバの機能③DNS サーバ④Active Director⑤ドメインコントローラ⑥ファイルサーバ⑦Web サーバ⑧Information Service⑨メールサーバ⑩DNS サーバ・⑪Web サーバを設定し、4つの部門をネットワークで連携させる。最後にネットワークシステムの検証をして、学生がプロジェクトを発表する。

ステップ 4 の情報セキュリティ演習では、構築したネットワーク環境の上で、ステップ 2 で得た情報セキュリティの知識を応用して、実機学習を進めていく。

4.学習の成果

学習開始時において、受講生にとっては、サーバや LAN 構築、またアドミニストレータ権限で自分の ID やパスワードを設定するなど全て始めの体験であった。自ら学ぶ環境を準備し、毎回更新していくという作業は、自主性を促す効果もあった。

また、最終日にとったアンケートでは次のような回答を得た。「会計・経営・経済の異なる知識を持ったメンバーが作業を分担し、限られた時間内で試行錯誤をしながら状況や問題を伝えあうことで、コミュニケーション・スキルの向上にもつながった」「メールディスカッションでは、多数メンバー間での電子的コミュニケーションを体験できた」などである。また、「テーマ別に実務でおこりうる問題を与えられるので、問題発見解決能力の訓練にもなった」「IT 関連の仕事について、自身の適性或職業意識にめざめた」さらに、「企業で活用される情報機器や活用方法を部分なりにも体験学習できたことで、自信をもてた」「業務の一部を実感できた」「トラブルに対して対応する力がついた」「個人情報の取り扱いはきっちり理解できたと思う」などもある。

企業のセキュリティ問題について課された個人のレポートでは、クラスの最初と最終レポートを比較しても、「問題に対する多角的に分析する視点をもてた」「解決案を提案できる力がついた」という自己評価が多く、このことから、「Real IT」の学習効果は専門科目やキャリア能力の開発にも波及効果をもたらしたものと推測される。

5.メディアセンターの支援

最後に、メディアセンターの支援概要と教室の PC 環境を述べる。

立教大学メディアセンターは、コンピュータやマルチメディア機器の利用によって教育・研究の支援をする全学組織である。この「Real IT」教育では、所長及びスタッフの方々と議論を重ね、「Real IT」を安全・安心に実現できる IT 利用の基礎となるセキュリティも確保している。

■ 実機演習をするための前提条件は以下の通りである。

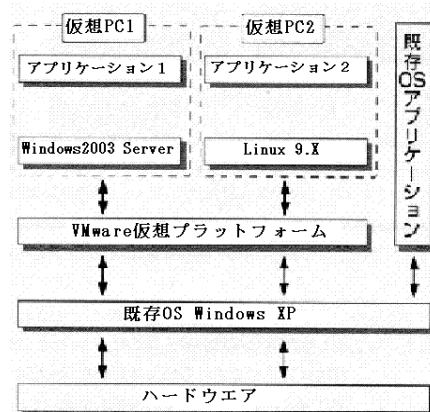
- ① Windows Vista、Windows Server 2003、VMware 仮想マシン環境

- ② 学習の段階で、何度失敗をしても、前の作業に戻れる仕組み。
- ③ 大学の V-Campus の既存のネットワークに影響しない閉じた環境。
- ④ メンテナンスの時間やコストがかからないこと。
- ⑤ PC を他の授業で共有しても支障がない為の特定の ID とフォルダアクセス権
- ⑥ ルータ・ハブなど機器を使い、自在に LAN 構成ができること。

■7202 教室の PC 環境

型番：Lenovo R61e	HDD：80GB
CPU：Intel Core2Duo プロセッサ L7300 2.0GHz	OS: Windows Vista
LAN: 1000/100/10Base-TX	メモリ: 2GB
ディスプレイ: 12.1V 型 TFT 液晶 (1,024×768 ドット、1,677 万色)	

●仮想マシンのイメージ



*最後に、立教大学のメディアセンターには「Real IT」環境のご支援を頂き、教育成果を上げることができたことに対して感謝いたします。以上

3. 報告

メディアセンター事業概要	・・・・・・・・・・ P28
2010 年度メディアセンター事業報告	・・・・・・・・・・ P29
2011 年度メディアセンター事業計画	・・・・・・・・・・ P32
メディアセンター年間スケジュール	・・・・・・・・・・ P34
教室 AV 設備整備：池袋	・・・・・・・・・・ P35
大学情報サミットの活動内容紹介	・・・・・・・・・・ P38
学外研修・セミナー	・・・・・・・・・・ P39

メディアセンター事業概要

メディアセンターは、コンピュータやマルチメディア機器の利用によって教育・研究の支援をする全学組織です。

学内ネットワーク環境の構築・管理、パソコン教室の管理や利用サポート、各教室に備えられた各種オーディオ・ビデオ機器の管理、教員への操作指導、講演会等のサポートや研究・教育資料のデジタル化など、多彩な業務を展開しています。

立教大学のネットワーク環境は、1999 年度にスタートした『立教 V-Campus (バーチャルキャンパス)』計画により整備され、2004 年度と 2008 年度のリニューアルを経て、研究・教育・事務利用を強力に支援しています。

2011 年春現在、池袋キャンパスのパソコン教室には約 1050 台、新座キャンパスには約 500 台の最新パソコンが導入され、授業や自習に利用されています。また、語学用パソコン教室では、通常のパソコン教室の機能に加え、マルチメディア化された語学教育環境をサポートしています。

これらパソコン教室をはじめ、学内の研究や事務で利用されている大型汎用機、ワークステーション、パソコンは高速な LAN で接続され、インターネットへとつながっています。

教職員と学生にはメールアドレスとホームページ領域が提供されているほか、授業支援システム『CHORUS』『Blackboard』といった教育支援ツールを運営・管理しています。これらは、教員と学生、学生同士の活発なコミュニケーションに大きな役割を果たしています。

参考

V-Campus について

■V-Campus で何ができる？

パソコン教室の利用や E-mail での情報交換、パソコンソフトでの英語学習、授業支援システム (CHORUS) 上での授業の予習・復習や課題の提出、携帯電話からの休講情報の確認など、V-Campus では学生生活を送る上で欠かせない情報環境が提供されています。

詳細は配布されたハンドブックや V-Campus ホームページ (<http://vc.rikkyo.ac.jp/>) を参照してください。

2010 年度メディアセンター事業報告

組織目的：立教大学の教育研究情報基盤を構築運用する。

事業方針：ICTⁱ基盤の整備と運用、及び、学習・教育・研究活動における ICT 利活用支援を通して、
本学の教育効果と研究成果の向上に努める。

(1) コンピュータ教室の整備と運用

- PC 教室、語学教育用 PC 教室、PC 常設演習室を運用した。
- 語学教育用 PC 教室の更新をした。
- 新座キャンパスの新教室棟 PC 教室を構築した。

(2) 一般教室マルチメディア機器の整備と運用

- 一般教室マルチメディア機器を運用した。
- 定期更新計画による設備更新を行った。
- 全教室への教卓 PC 設置が完了した。

(3) 図書館 ICT 設備の整備と運用

- 図書館サーバのハウジングサービスを行っている。
- 図書館での貸出ノート PC を運用した。

(4) ラーニングスペースの整備と運用

- ラーニングスペースを運用した。
- マキム等に 27 台のラーニングスペースを増設した。
- 国際センターのグローバルラウンジに国際放送視聴モニターを新設した。

(5) ICT 関連貸出機器の整備と運用

- 教員向けに、授業用ノート PC やビデオカメラ等の貸出をした。
- 学生向けに、ノート PC の貸出をした。
- 学生用貸出ノート PC を増設した。(100 台)

(6) 教育研究用サーバの整備と運用

下記サーバを運用した。

- 全カリ英語研究室：ALC ネットアカデミー、スーパー英語 (REO)
- 英語ディスカッションセンター：管理用サーバ等
- 社会情報教育研究センター：RUDA、統計パッケージ用サーバ (SPSS, S-PLUS)、セミナー管理サーバ
- 共生社会センター：管理用サーバ、検索用サーバ
- 教員個人サーバ (3 名)

(7) 学内ネットワークの整備と運用

- 新座キャンパス無線 LAN 整備計画を行った。
- 池袋キャンパス無線 LAN エリアの拡大を行った。
- 新棟竣工に伴うネットワーク環境の整備計画と構築を行った。
 - マキムホール、新座キャンパス新座新教室棟、富士見総合グランドクラブハウスは構築が完了した。ロイドホール、池袋総合体育館は設計を継続している。

(8) インターネットの整備と運用

- インターネット接続サービスを提供した。
- 学術認証フェデレーションに加盟した。

(9) デジタルコンテンツ作成支援

- 授業、イベント収録配信支援をした。
- 「サイバーラーニング」システムを運用した。
- 「オンデマンド授業」システムを運用した。
- オープンアクセスを推進した。(OCW、iTunesU での配信準備を行った。)
- 社会情報教育研究センター関連コンテンツを作成した。

(10) V-Campus プロジェクト

- 2011 度末に更新時期を迎える V-Campus の次期システムの要件を検討した。

(11) 情報共有高度化推進

- 大学情報データベースを運用した。(READ 連携を行った。)
 - ほぼ全教員の研究者情報が整備され READ にも自動登録された。
- 大学機関リポジトリシステム導入検討をした。
- 「立教時間」プロジェクトを推進した。
 - システム設計書を作成し、テストパイロット版を稼働させた。
- QA/FAQ システムを活用したヘルプデスクシステムの計画を立案し予算化した。

(12) ICT 教育活用推進

- WebClass システムを運用した。(情報リテラシー教育等)
- 授業支援システムを運用した。(全授業対象)
- e-Learning 普及に関する中長期計画の素案を作成した。
- 次期授業支援システム (Blackboard) の本格稼働を目指したが至らなかった。
 - 出席管理機能を追加した。
 - 旧授業支援システムには日英切替機能を追加し次期授業支援システムとの連携を実現した。

(13) ICT 基盤運用改革

- 2012 年度からの実施に向けて ITILⁱⁱ導入検討のための研修に参加した。

(14) ICT 関連組織改革

- 既存規程を現状に即した規程に改定 (情報監査委員会の廃止に伴う措置) する予定であったが至らなかった。
- 大学 CI0ⁱⁱⁱの設置を見据えた ICT 関連組織案を検討し、情報企画委員会に提出する予定であったが至らなかった。

(15) メディアセンター新座分室の新教室棟への移転

- 新座 6 号館 2 階にあったメディアセンター新座分室を新座 8 号館 2 階に移転した。

(16) その他

- 「私立大学情報教育協会」連絡事務局を行った。
- 「大学情報サミット」活動を行った。
- 「大学 ICT 推進協議会」に加盟し本学の連絡事務局を担うことになった。
- 「社会情報教育研究センター」事務局業務を行った。

- 社会調査士資格申請業務フローを整備しマニュアルを作成した。「多変量解析入門」コンテンツを作成した。ホームページと活動報告案を作成した。

i ICT (Information and Communication Technology) 情報通信技術

ii ITIL(Information Technology Infrastructure Library) IT サービスマネジメントのプロセス、品質が組織に採用されているかを証明するもの。英国規格 BS15000。欧米では、政府の調達基準の 1 つ。システム運用のアウトソースを図る際の品質の評価基準としても機能。

iii CIO(Chief Information Officer) 最高情報責任者 / IT 担当役員：企業において自社の経営理念に合わせて情報化戦略を立案、実行する責任者。

2011 年度メディアセンター事業計画

組織目的：立教大学の教育研究情報基盤を構築運用する。

事業方針：ICTⁱ基盤の整備と運用、及び、学習・教育・研究活動における ICT 利活用支援を通して、本学の教育効果と研究成果の向上に努める。

(1) コンピュータ教室の整備と運用

- PC 教室、語学教育用 PC 教室、PC 常設演習室を運用する。
- 次期 PC 教室の設計構築を行う。(V-Campus5th)

(2) 一般教室マルチメディア機器の整備と運用

- 一般教室マルチメディア機器を運用する。
- 定期更新計画による設備更新を行う。(8101、4342、4406、AB01、A101 など)
- 11 号館改修、本館耐震工事に伴う設備の新設や更新を行う。

(3) 図書館 ICT 設備の整備と運用

- 図書館での貸出ノート PC を運用する。
- ロイド内の図書館内 ICT 整備計画を策定する。

(4) ラーニングスペースの整備と運用

- ラーニングスペースを運用する。
- 本館耐震工事に伴い、本館内に 16 台規模のラーニングスペースを新設する。

(5) ICT 関連貸出機器の整備と運用

- 教員向けに、授業用ノート PC やビデオカメラ等の貸出をする。
- 学生向けに、ノート PC の貸出をする。
- 学生用貸出ノート PC を増設する。(100 台)

(6) 教育研究用サーバの整備と運用

下記サーバを運用する。

- 全カリ英語研究室：ALC ネットアカデミー、スーパー英語 (REO)
- 英語ディスカッションセンター：管理用サーバ等
- 社会情報教育研究センター：RUDA、統計パッケージ用サーバ (SPSS, S-PLUS)、セミナー管理サーバ
- 共生社会センター：管理用サーバ、検索用サーバ
- 教員個人サーバ (3 名)

(7) 学内ネットワークの整備と運用

- 新座キャンパス無線 LAN 整備を行う。
- 池袋キャンパス有線 LAN 更新を行う。(4 号館支線配線を含む)
- 認証 VLAN 検証実験を行う。

(8) インターネットの整備と運用

- インターネット接続サービスを提供する。
- インターネット接続サービスの更新を行う。(V-Campus5th)
- 学術認証フェデレーションの運用を行う。
- IPv6 の実装実験を行う。

(9) デジタルコンテンツ作成支援

- 授業、イベント収録配信支援をする。
- 「サイバーラーニング」システムを運用する。
- 「オンデマンド授業」システムを運用する。
- オープンアクセスを推進する。(OCW、iTunesU での配信)
- 個人情報保護啓発関連コンテンツを作成する。
- 社会情報教育研究センター関連コンテンツを作成する。

(10) V-Campus プロジェクト

- 今年度末に更新時期を迎える V-Campus の次期システムを設計構築する。

(11) 情報共有高度化推進

- 大学情報データベースを運用する。(READ 連携含む)
- 大学機関リポジトリシステム導入検討をする。
- 「立教時間」プロジェクトを推進する。
- QA/FAQ システムを活用したヘルプデスクシステムを構築し効果を情報企画委員会に報告する。

(12) ICT 教育活用推進

- WebClass システムを運用する。(情報リテラシー教育等)
- 授業支援システムを運用する。(全授業対象)
- 次期授業支援システム (Blackboard) を本格稼働させる。

(13) ICT 基盤運用改革

- 2012 年度からの実施に向けて ITILⁱⁱ導入計画を策定する。

(14) ICT 関連組織改革

- 既存規程を現状に即した規程に改定する。(情報監査委員会の廃止に伴う措置)
- 大学 CIOⁱⁱⁱの設置を見据えた ICT 関連組織案を検討し、情報企画委員会に提出する。

(15) その他

- 「私立大学情報教育協会」連絡事務局を行う。
- 「大学情報サミット」活動を行う。
- 「大学 ICT 推進協議会」連絡事務局を行う。
- 「社会情報教育研究センター」事務局業務を行う。

ⁱ ICT (Information and Communication Technology) 情報通信技術

ⁱⁱ ITIL(Information Technology Infrastructure Library) IT サービスマネジメントのプロセス、品質が組織に採用されているかを証明するもの。英国規格 BS15000。欧米では、政府の調達基準の 1 つ。システム運用のアウトソースを図る際の品質の評価基準としても機能。

ⁱⁱⁱ CIO(Chief Information Officer) 最高情報責任者 / IT 担当役員：企業において自社の経営理念に合わせて情報化戦略を立案、実行する責任者。

メディアセンター年間スケジュール

作業項目	4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月											
	W1	W2	W3	W4	W1	W2	W3	W4	W1	W2	W3	W4	W1	W2	W3	W4	W1	W2	W3	W4	W1	W2	W3	W4	W1	W2	W3	W4	W1	W2	W3	W4	W1	W2	W3	W4	W1	W2	W3	W4																
学内予定	◇ 入学式(4/5,6)																夏季休業期間(8/1～9/17)								SPF								冬季休業				補講・試験(1/19～2/4)								◇											
	◇																								後期授業開始(9/18)				秋季休業(10/29～)								後期授業終了(1/18)				入学試験								卒業式(3/24・25)※中止							
1 教室環境管理																																																								
	新年度準備(～4/11)				機器トラブル対応・日常点検・修繕								教室改修工事				ノートPCメンテナンス								トラブル対応・日常点検・修繕																機器・ソフト棚卸し・リスト更新				教室環境等提供情報の更新				教室改修工事				機器修繕・メンテ・クリーニング			
					教室環境案内ホームページ等提供情報の更新								システム点検・メンテナンス												教室環境案内ホームページ等提供情報の更新												メンテナンス対象項目リストアップ																			
2 イベント支援																																																								
	新入生オリエンテーション				赤レンガ講座サポート(総長室)																赤レンガ講座サポート(総長室)								SPFガイダンス				SPFサポート/貸出機器回収(学生部)				クリスマス行事サポート(学生部・チャペル・実行委員会)				入学試験の動員、マイク等機器サポート								卒業式中継サポート※中							
	◇→												オープンキャンパス(入学センター)																貸出機器整理																											
	履修登録サポート																								履修登録サポート																															
																	教育懇談会マイクサポート(渉外課)																																							
3 アカウント管理業務																																																								
	校友向けサービス																																																校友向けホスティングサービス準備、案内							
	◇→				卒業生データ削除処理(教職員の退職者データは残)																																												アカウント停止受				新親教職員、学生データ投入(3/最終週)			
	新年度準備 Chorus科目、(～4/10頃)																																																							
4 教材準備室窓口業務																																																								
	定期貸出申込み受付				定期貸出カード作成																後期準備(9/11～17)								窓口業務(後期授業支援等)(9/18～1/21)								窓口利用統計				窓口担当者募集・体制確保				機器操作マニュアル見直し・整備											
	新年度準備(～4/11)				窓口業務(前期授業支援・ダビング等)(4/12～7/15)												窓口休業(7/20～9/19)																																				貸出し用備品の点検・次年度準備			
5 予算・補助金関係業務																																																								
	購入予定物件見積ネゴ				補助金申請				補助金申請								学内ICT・AV利用に関するヒアリングと要望取りま								次年度予算計画				予算申請				予算ネゴ				予算審議期間				予算結果確認				購入予定機器見積取得											
	必要な機器・備品類の発注																								見積り取得																								業務委託契約内容見直し							
6 その他																																																								
					情報企画委員会開催(前年度企画報告等)																								情報企画委員会開催(次年度予算企画リス)				情報企画委員会開催(次年度予算企画優)												情報企画委員会開催(次年度予算承認企画実施方法の報告)											

教室 AV 設備整備（池袋キャンパス）

2010 年度は 4 号館 3 階・4 階教室、5 号館 5324 教室、9 号館大教室で教室 AV 設備の改修工事を行い、7 号館 B 棟とマキムホール（15 号館）へ新設された教室の AV 設備を新規導入した。

○4 号館 3 階・4 階教室（4339、4340、4341、4407）

【簡易操作卓型】

- AV ラック型から簡易操作卓型へ AV システムを変更した。
- タッチパネルの導入、スクリーンの自動化、教卓パソコンの設置、OHC のケーブル接続を無くすなどし、授業準備が簡単になるようにした。
- ブルーレイディスクプレーヤーを設置し、ブルーレイディスクはもとより、地デジ録画 DVD も再生可能にした。



＜簡易操作卓イメージ＞



＜簡易操作卓タッチパネルイメージ＞

○5 号館 5324 教室

【AV ラック型】

- スクリーンの自動化、新規プロジェクターを設置した。
- ブルーレイデッキを設置し、ブルーレイディスクはもとより、地デジ録画 DVD も再生可能にした。



＜教室全体イメージ＞



＜AV ラック側面操作パネルイメージ＞

○9 号館 大教室

【操作卓型】

- ・ ハイビジョンプロジェクター、300 インチの超ワイドスクリーンを導入し、より高輝度高画質な映像の投影が可能となった。
- ・ 操作卓には、AV 機器の操作が見やすくわかりやすいタッチパネルを導入した。
- ・ 後部座席まで高音質なマイクや AV 音声が届くように、スピーカー、アンプなどの音響機器を全体的に更新した。
- ・ OHC は細部まで映写可能な高機能なものを導入した。
- ・ ブルーレイディスクプレーヤーを設置し、ブルーレイディスクはもとより、地デジ録画 DVD も再生可能にした。
- ・ 操作卓上に電子タブレットを導入し、またホワイトボードに書いたものをスクリーンに投影可能な電子ホワイトボードも設置した。
- ・ 教室後尾にハイビジョンカメラを設置し、授業やイベントの収録・配信が可能となった。



＜操作卓イメージ＞



＜操作卓タッチパネルイメージ＞

○7 号館 B 棟教室

【AV ワゴン型】

- ・ スライディング・ウォール（可動間仕切り）が使用され、用途によって教室の大きさを変更できる教室のため、可動式 AV ワゴンを導入した。
- ・ AV ワゴンにはプロジェクター、VHS デッキ、DVD デッキ、OHC、ノート PC を搭載し、ワゴン側面には操作パネルを設置した。



<AV ワゴン使用イメージ>

<AV ワゴン側面操作パネルイメージ>

○マキムホール（15 号館…MB01、M201、M202、M301、M302）

【操作卓型】

- 高輝度・高解像度フル HD リアル対応なプロジェクターを導入し、大教室かつ明るい環境でも高画質な映像の投影が可能となった。
- スクリーンは MB01 教室へは 3 面、それ以外の教室へは 2 面設置し、それぞれ多ソースの投影が可能となった。
- ブルーレイディスクプレーヤーを設置し、ブルーレイディスクはもとより、地デジ録画 DVD も再生可能にした。
- 教室後尾にハイビジョンカメラを 2 台設置し、様々な角度からの収録・配信が可能となり、また、2 つの異なる映像（例：パワーポイント画面と講演者）を同時に 1 画面に録画できる機能を追加した。
- ディスプレイ上で、パソコン画面への書込みやパソコン操作ができる「お絵かきパソコン」を設置した。



<教室全体イメージ>



<お絵かきパソコンイメージ>

大学情報サミットの活動内容紹介

大学情報サミットは2005年11月に明治大学情報科学センター所長阪井和男教授の呼び掛けにより始まった『6大学情報サミット準備研究会』が発端となり、2011年2月時点で慶應義塾大学・法政大学・明治大学・立教大学・早稲田大学の5大学で構成されている。

各大学の情報システム部門が単なる自大学のインフラの整備に留まらず、大学の目的である教育・学術研究をはじめとした広範囲な分野で連携を進め、定期的な勉強会の開催や年間を通じてのプロジェクト活動などを行なっている。これらの活動の成果を各大学だけでなく社会全体の発展に貢献する目的で、毎年度サミット大会を開催している。

本年度で第四回を迎えた大学情報サミット大会は「大学情報部門の連携と協創～連携の継続と見えてきた協創関係～」をテーマに掲げ、2010年6月19日に立教大学 池袋キャンパス 太刀川記念ホールで行なわれた。

土曜日の開催となったが、大学情報サミット関係者と一般企業や教育関係者を合わせ、127名の参加者となり、盛大に行なわれた。

基調講演には日本経済新聞社 産業部編集委員兼論説委員の関口和一氏をお招きし、「クラウド時代の大学 ICT 戦略」というテーマで非常に興味深く、貴重なお話をお聞きすることができた。

代表者講演は立教大学メディアセンター長の日向野幹也経営学部教授より「プロジェクト型授業とポートフォリオ」をテーマにご講演いただくとともに、年間活動報告として代表幹事である本学メディアセンター課長の宮内文隆より報告をおこなった。

また、本年度は下記3つのプロジェクトテーマを設定して各大学からの選出メンバーで活動を行なってきたが、今期の活動の成果報告として各プロジェクトから発表があった。

- － 「理想的な情報環境利用者教育」
- － 「情報系部門における新任者の育成」
- － 「情報共有基盤の構築」

参加者からは内容的に充実していて、有意義な会であったと非常に好評であった。

＜写真 は5大学による共同声明署名の様＞



学外研修・セミナー

メディアセンターでは、職員が自発的に学外研修・セミナーに参加し、学内 ICT サービス向上のための情報収集や自己啓発に努めている。2010 年度にメディアセンター職員が参加した学外研修・セミナー情報を以下に記載する。

1. 学外研修

参加日	研修名	主催
2010 年 10 月 27～29 日	平成 22 年度図書館等職員著作権実施講習会	文化庁
2010 年 11 月 10～12 日	私立大学情報教育協会_大学職員情報化研究講習会	私立大学情報教育協会
2011 年 1 月 20 日	学術認証フェデレーション (gakunin) 研修	国立情報学研究所
2011 年 2 月 8 日	ITIL 研修	(株)日立インフォメーションアカデミー

2. 学外セミナー

参加日	研修名	主催
2010 年 6 月 11 日	国際大学戦略セミナー	(株)CSK システムズ ブラックボードジャパン(株)
2010 年 6 月 19 日	大学情報サミット大会	大学情報サミット
2010 年 6 月 22 日	第 8 回大学 CIO フォーラム	日本マイクロソフト(株)
2010 年 7 月 9 日	教育 IT ソリューション EXPO	リード エグジビション ジャパン(株)
2010 年 7 月 14 日	IT Japan 2010 新時代を切り拓く (シスコシステムズ)	(株)日経 BP
2010 年 7 月 23 日	日立 uVALUE コンベンション 2010	(株)日立製作所
2010 年 7 月 30 日	e-learning WORLD	e-Learning WORLD 2.0 実行委員会 フジサンケイ ビジネスアイ (株)シー・エヌ・ティ
2010 年 9 月 22～24 日	New Education EXPO	New Education Expo 実行委員会

2010 年 10 月 5 日	I I J ビジネスフォーラム 2010	(株)インターネットイニシアティブ
2010 年 10 月 18 日	CAUA 第 9 回合同研究分科会	CTC アカデミックユーザー アソシエーション
2010 年 10 月 25～27 日	Gartner Symposium Itxpo 2010	ガートナー ジャパン(株)
2010 年 11 月 10 日	学術情報基盤オープンフォーラム 2010	国立情報学研究所
2010 年 11 月 12 日	IT Leaders セミナー	(株)インターネットイニシアティブ
2010 年 11 月 25～26 日	大学・高校実践ソリューションセミナー2010	(株)内田洋行
2010 年 12 月 17 日	アップルフォーラム AcademiX 2010	アップルジャパン(株)
2011 年 3 月 1 日	スマートフォンセキュリティの 最前線 ～ビジネス環境で安全にスマートフォンを活用する為に～	東京 IT 新聞
2011 年 3 月 7 日	学術認証フェデレーションシン ポジウム	国立情報学研究所
2010 年 6 月 11 日	国際大学戦略セミナー	(株)CSK システムズ ブラックボードジャパン(株)

4. 点検・評価

メディアセンター自己点検・評価報告	・・・・・・・・・・P42
-------------------	---------------

メディアセンター自己点検・評価報告

2010 年 4 月 1 日に改正された「立教大学自己点検・評価規程」により、メディアセンターには、メディアセンター長を委員長とする「メディアセンター点検・評価委員会」が設置された。

「立教大学自己点検・評価規程」により、メディアセンターでは「メディアセンター点検・評価委員会」の構成と運用を以下のように定め、2011 年 4 月より内規とした。2012 年度まで暫定運用し、規程化する予定である。

【構成】

メディアセンター点検・評価委員長	(メディアセンター長	平山孝人)
メディアセンター点検・評価委員	(メディアセンター副センター長	小林悦雄)
メディアセンター点検・評価委員	(メディアセンター副センター長	佐藤大祐)
メディアセンター点検・評価委員	(メディアセンター課長	宮内文隆)
メディアセンター点検・評価委員	(メディアセンター担当課長	毛利立夫)

【運用】

委員会は、8 月に、毎年、7 月までに作成される前年度のメディアセンター活動報告をもとに点検し評価する。

点検評価する項目は以下の通り。

1. 課題の認識

- 課題一覧が作成され管理されているか
- 課題の発見に努めているか

2. 中長期計画

- 明確な目的に向けて具体的な目標が設定されているか
- 進捗や達成状況が公開されているか
- 計画は実施され、見直されているか

3. 年次計画

- 明確な目的に向けて具体的な目標が設定されているか
- 前年度事業報告、当年度の事業計画が公開されているか
- 進捗や達成状況が公開されているか
- 計画は実施され、見直されているか

4. 本委員会からの指摘事項への対応

- 指摘事項は改善されているか

なお、2010年度は、「立教大学自己点検・評価規程」が改定された年度であるため、本委員会による点検評価は、「メディアセンター報」が発行される2011年度7月以降に実施される。2010年度中は、メディアセンター長（日向野幹也）、メディアセンター課長（宮内文隆）がメディアセンターの点検評価を担当し、メディアセンター会を通して、センターの点検・評価活動を行った。また、2011年度以降の点検・評価活動に向けて、「メディアセンター報」の刊行準備を行った。

5. 資料

メディアセンター要員構成	・・・・・・・・・・	P46
ネットワーク環境利用状況	・・・・・・・・・・	P48
PC 環境利用状況：池袋	・・・・・・・・・・	P49
PC 環境利用状況（教室）：池袋	・・・・・・・・・・	P50
PC 環境利用状況（貸出）：池袋	・・・・・・・・・・	P51
AV 環境設置、貸出し状況：池袋	・・・・・・・・・・	P52
サイバーラーニング環境利用状況（ホームページ）	・・・・・・	P55
サイバーラーニング／CHORUS 登録件数推移	・・・・・・・・・・	P56
SPIRIT Mail 利用者数	・・・・・・・・・・	P57
CHORUS 利用状況	・・・・・・・・・・	P58
PCLL 教室利用／運用状況	・・・・・・・・・・	P64
PC トラブル状況（PC 教室）：池袋	・・・・・・・・・・	P65
AV トラブル、サポート状況：池袋	・・・・・・・・・・	P66
その他サポート状況：池袋	・・・・・・・・・・	P73
情報企画委員会記録	・・・・・・・・・・	P74
アンケート調査	・・・・・・・・・・	P77

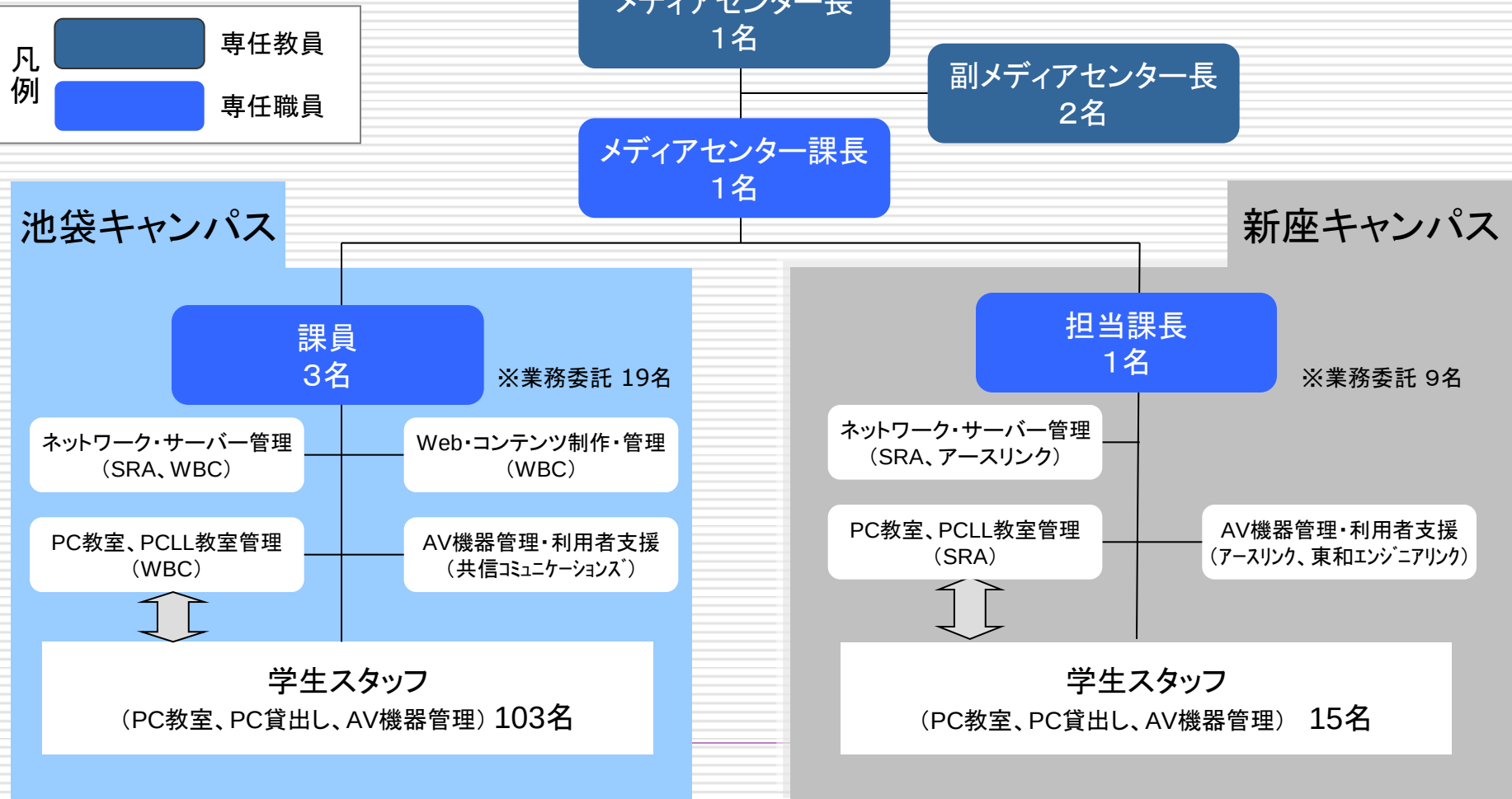
メディアセンター要員構成

池袋キャンパス、新座キャンパスのメディアセンター要員構成を以下に記載する。

	分類	役職	氏名	所属【人数】
池袋 キャン パス	専任教員	センター長	日向野 幹也	立教大学（経営）
		副センター長	小林 悦雄	立教大学（異文化コミュニティー）
	専任職員	センター課長	宮内 文隆	立教大学
		課員	根岸 千佳	立教大学
		課員	藤森 将仁	立教大学
		課員	饒村 良司	立教大学
	委託職員	—	—	共信コミュニケーションズ [6 名]
		—	—	SRA [2 名]
		—	—	WBC [7 名]
		—	—	WBC:シルバー人材センター[4 名]
	学生スタッフ	—	—	立教大学 [103 名]
新座 キャン パス	専任教員	副センター長	佐藤 大祐	立教大学（観光）
	専任職員	センター担当 課長	毛利 立夫	立教大学
	委託職員	—	—	SRA [2 名]
		—	—	アースリンク [3 名]
		—	—	東和エンジニアリング [1 名]
		—	—	シルバー人材センター [3 名]
	学生スタッフ	—	—	立教大学 [15 名]

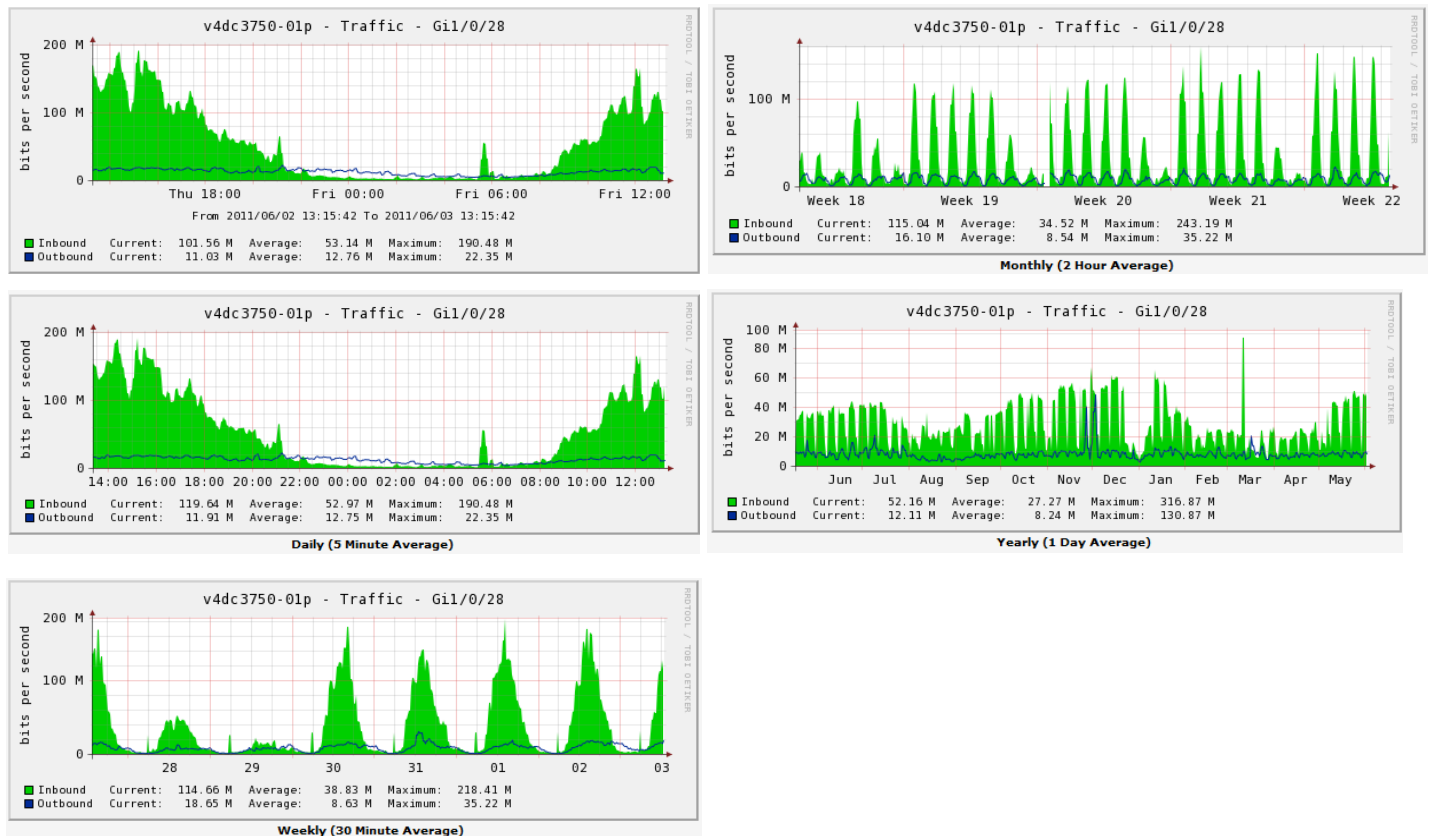


メディアセンター体制図

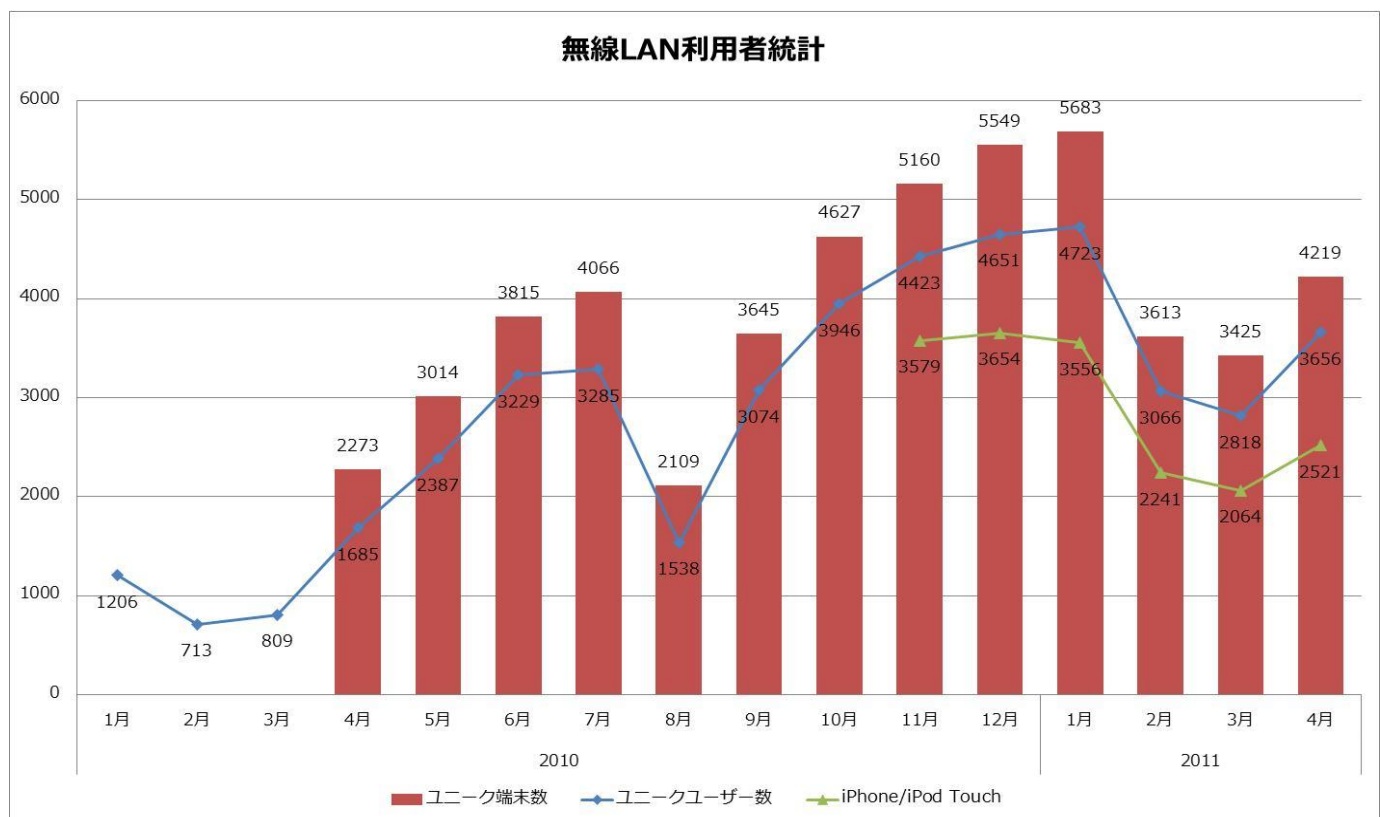


【ネットワーク環境利用状況】

1. インターネットとの通信量

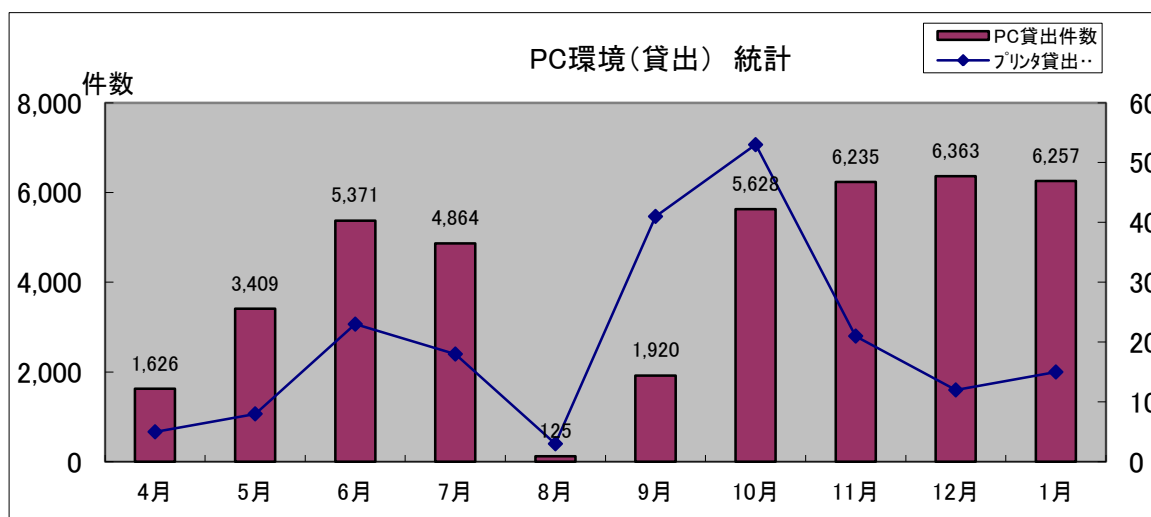


2. 池袋キャンパス無線LAN利用統計

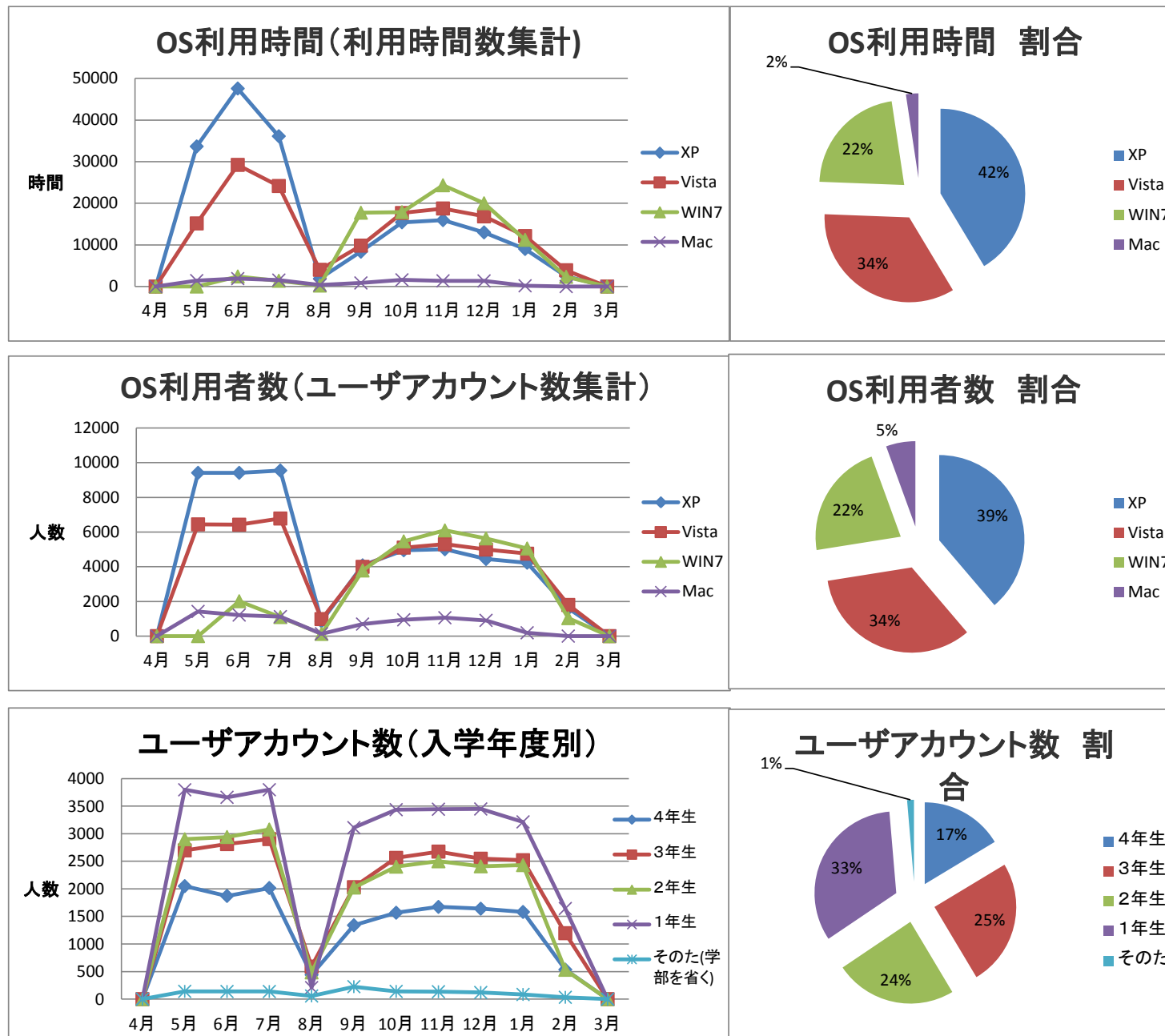


【PC環境利用状況(貸出):池袋】

月	PC貸出件数	プリンタ貸出件数
4月	1,626	5
5月	3,409	8
6月	5,371	23
7月	4,864	18
8月	125	3
9月	1,920	41
10月	5,628	53
11月	6,235	21
12月	6,363	12
1月	6,257	15



【PC環境利用状況(教室):池袋】



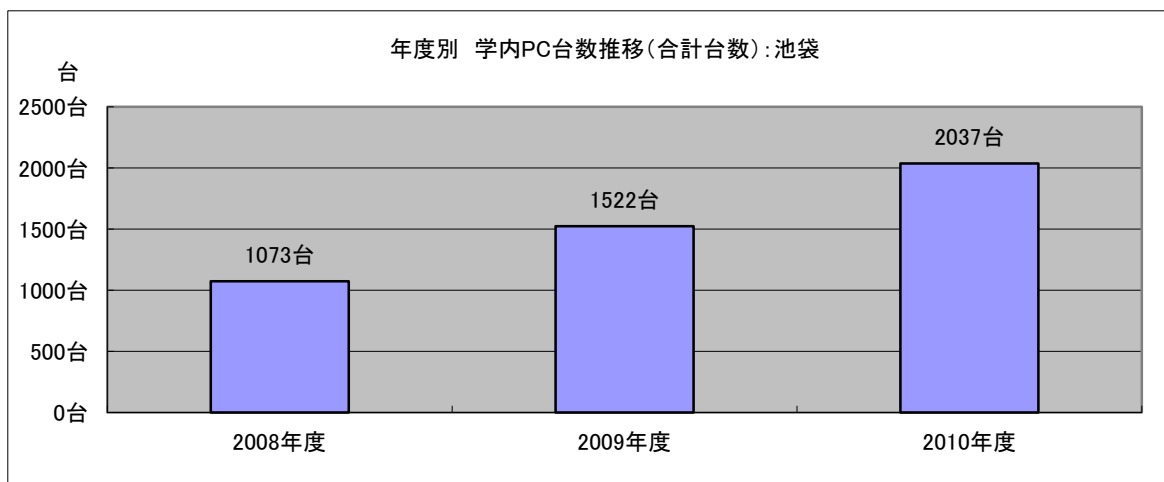
【PC環境利用状況：池袋】

合計台数(PC教室・ラーニングスペース・貸出PC等)

2008年度	1073台
2009年度	1522台
2010年度	2037台 (※見込み含む)

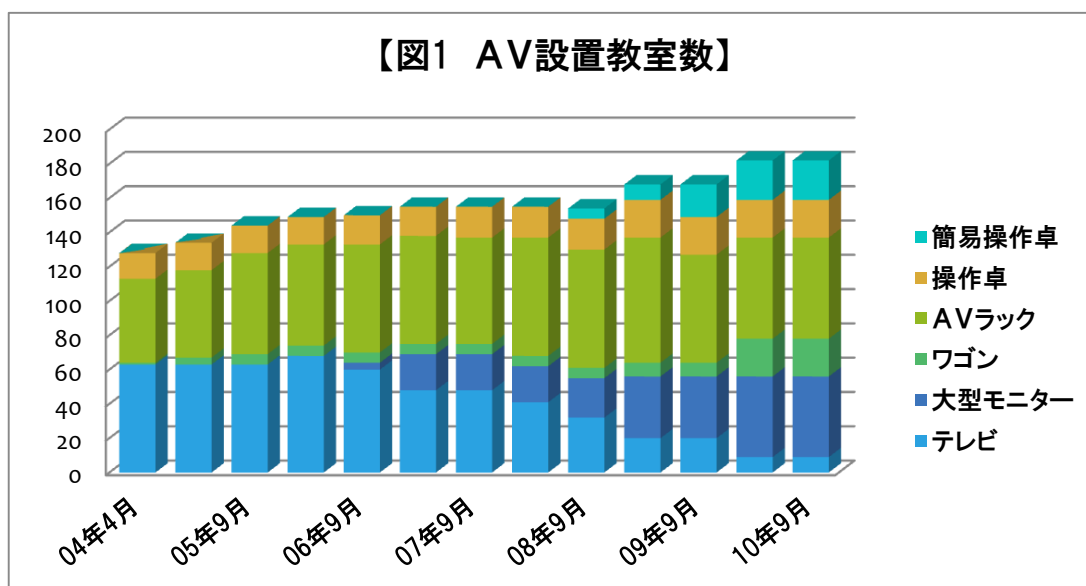
2010年度 内訳

8号館PC教室	1,018
ノートPC設置教室	290
貸出ノートPC	302
教卓PC	160
ラーニングスペースPC	82
その他(図書館等)	185
合計	2,037



【AV環境設置、貸出状況：池袋】

1. AV機器設置状況



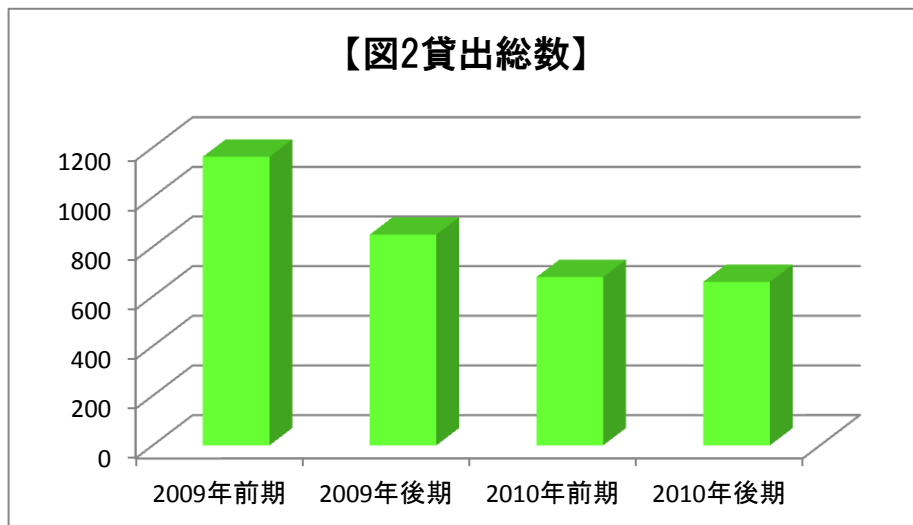
【表1 教室設備の変遷】

	08-'10教室設備 の変遷数	2010年現在 設置教室数
テレビ	-32	9
大型モニター	+26	47
ワゴン	+10	16
AVラック	-10	59
操作卓	+4	22
PC教室	-1	5
簡易操作卓	+23	23
PCCALL教室	0	6
総教室数	+27	194
AV機器設置教室	+21	189

2. AV機器貸出し状況

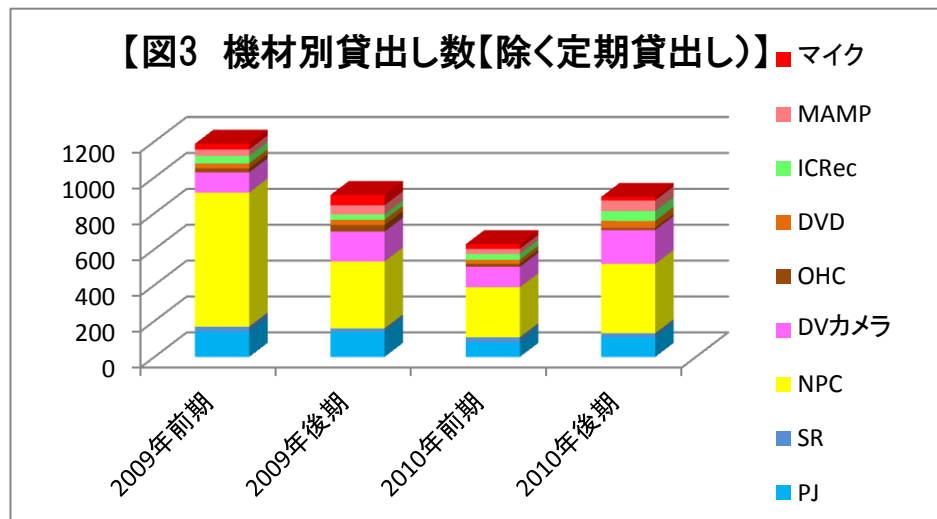
	機材貸出し数
2009年前期	1163
2009年後期	849
2010年前期	678
2010年後期	659

【表2 機材貸出し数】



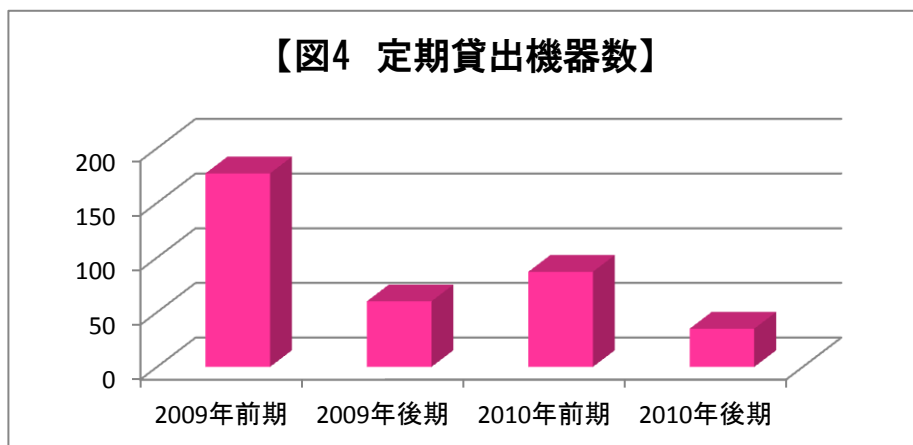
	PJ	SR	NPC	DVカメラ	OHC	DVD	ICRec	MAMP	マイク
2009年前期	141	28	747	112	23	27	41	37	32
2009年後期	139	20	373	166	36	30	29	52	57
2010年前期	82	28	278	114	17	23	32	28	26
2010年後期	111	21	386	189	12	39	54	60	19

【表3 機材別貸出し数【除く定期貸出し】】



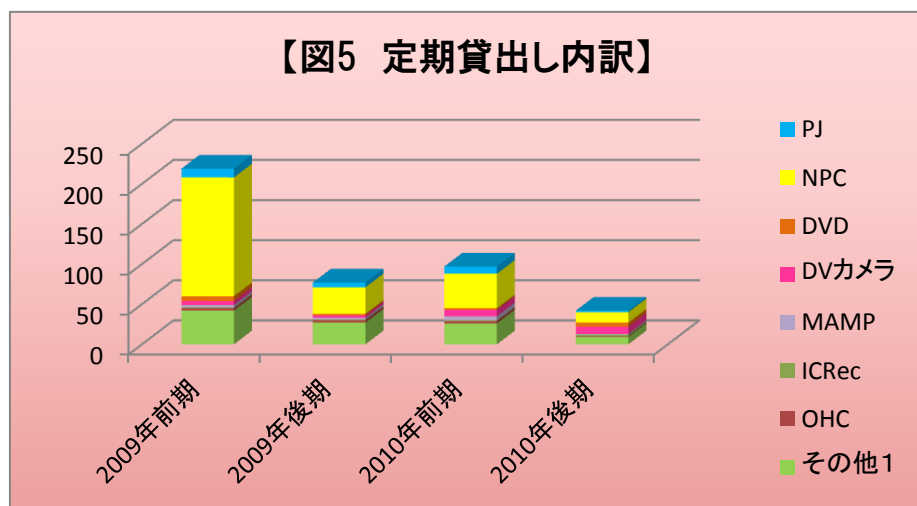
	定期貸出
2009年前期	177
2009年後期	60
2010年前期	87
2010年後期	35

【表4 定期貸出し機材数】



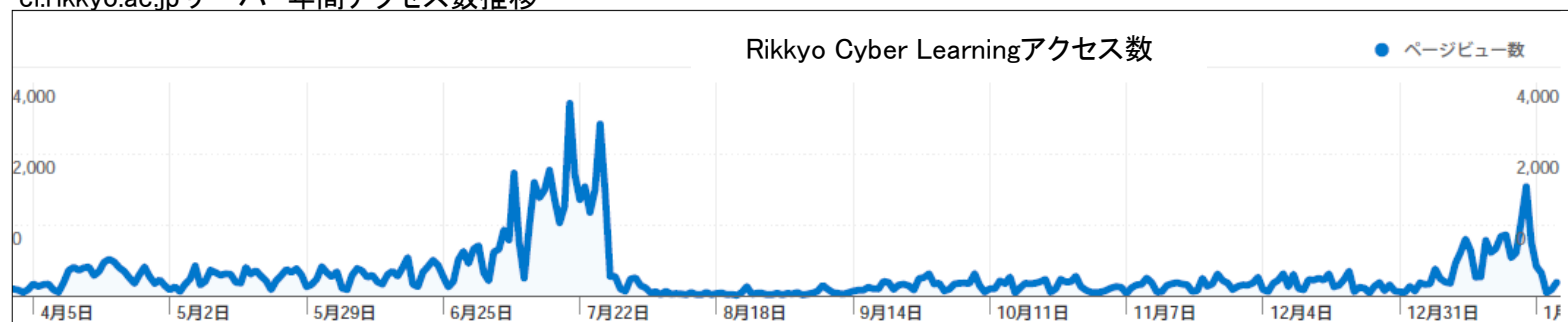
	PJ	NPC	DVカメラ	OHC	DVD	ICRec	MAMP	その他1
2009年前期	11	148	5	3	6	1	3	42
2009年後期	6	33	3	3	2	1	2	27
2010年前期	9	43	8	3	2	1	5	26
2010年後期	2	13	9	1	5	2	1	9

【表5 定期化資材機材内訳】



【サイバーラーニング環境利用状況（ホームページ）】

cl.rikkyo.ac.jpサーバ 年間アクセス数推移



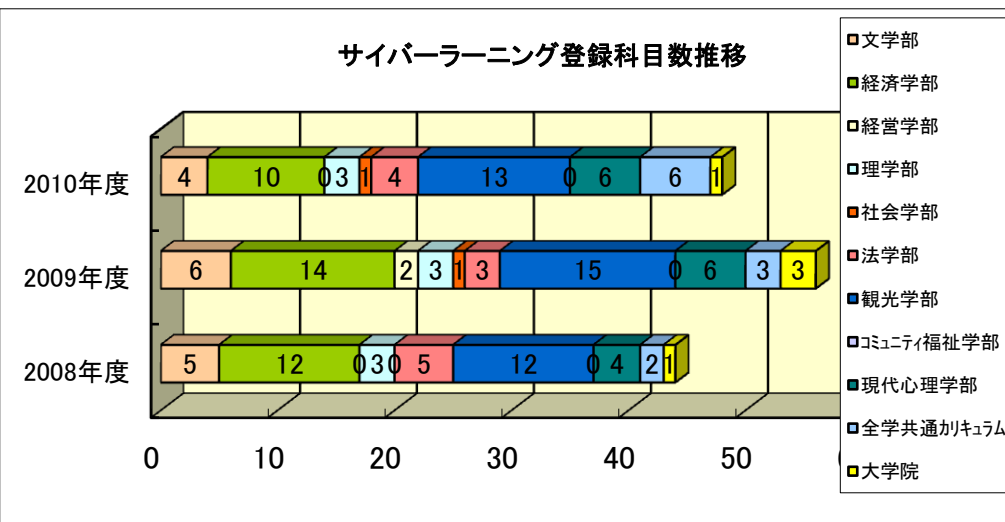
アクセスページTOP10

ページ	ページビュー数	ページ別セッション数	平均ページ滞在時間
/	32,220	20,572	00:00:38
/economics_vc/2010/iit/	4,211	1,300	00:00:58
/2009/	3,747	1,891	00:00:36
/law/2010/el/	3,051	1,642	00:00:55
/law/2010/ioj/	2,922	1,628	00:00:46
/economics_vc/2010/ep2/	2,589	839	00:00:53
/economics_vc/2010/ep1/	2,584	855	00:00:31
/zenkari/2010/sl/	1,550	260	00:00:18
/economics_vc/2010/iep/	1,483	493	00:00:49
/economics_vc/2010/2010/06/1.htm l	1,274	520	00:01:25
/akarenga/	1,163	706	00:00:24

【サイバーラーニング／CHORUS 登録件数推移】

サイバーラーニング登録コマ数推移

	2008年度	2009年度	2010年度
文学部	5	6	4
経済学部	12	14	10
経営学部	0	2	0
理学部	3	3	3
社会学部	0	1	1
法学部	5	3	4
観光学部	12	15	13
コミュニティ福祉学部	0	0	0
現代心理学部	4	6	6
異文化コミュニケーション学部		2	3
全学共通カリキュラム	2	3	6
大学院	1	3	1
総計	44	58	51
1教員あたりの 平均開設科目数	2.4	3.2	2.3

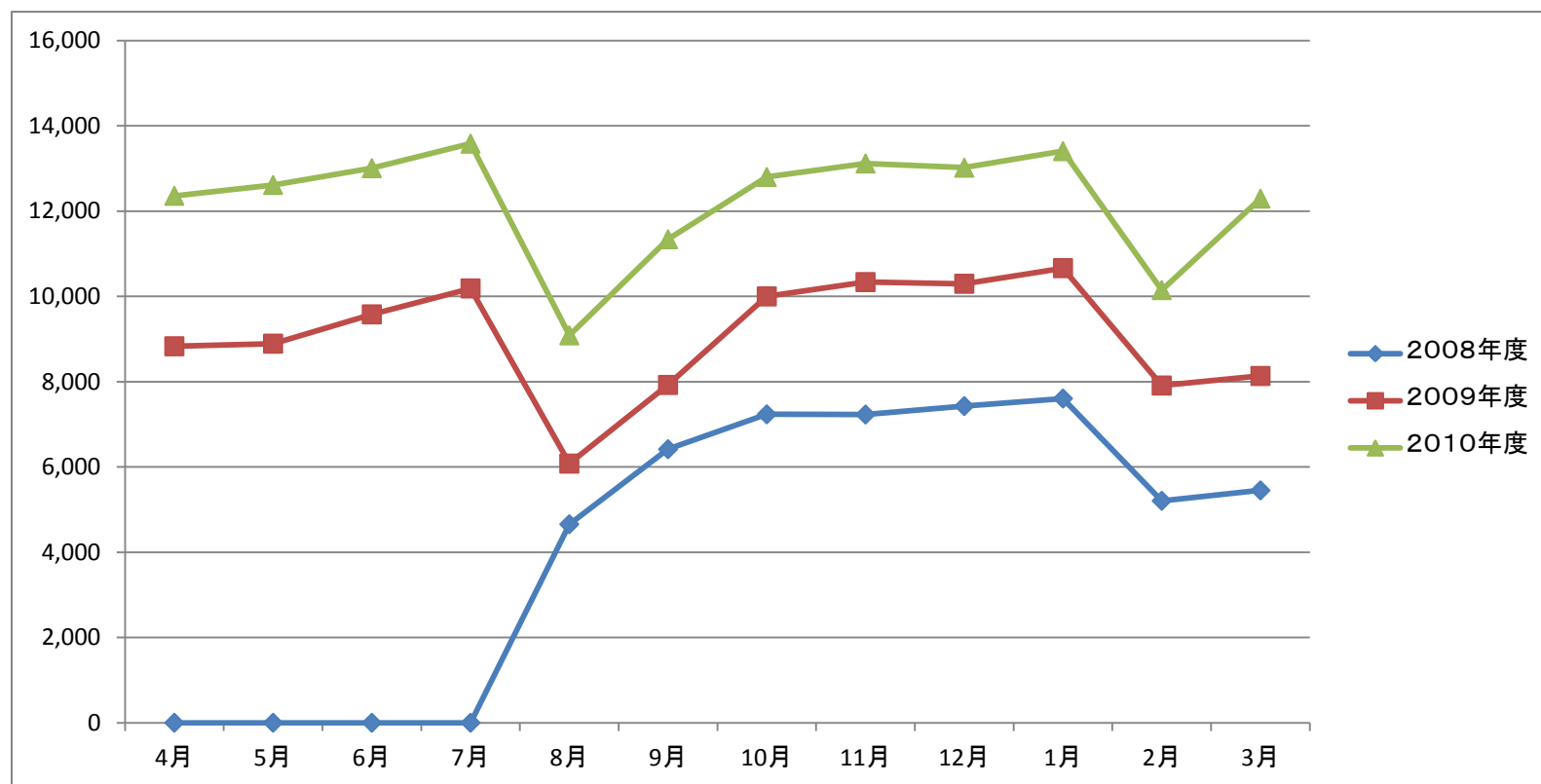


CHORUS利用教員/コマ数推移

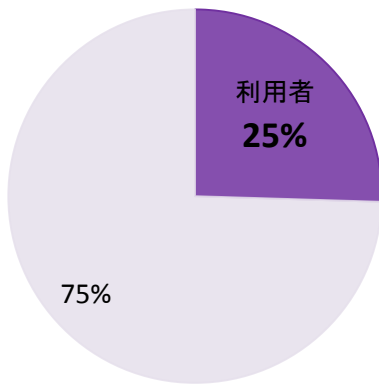
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2008年	教員数										304	307
	コマ数										810	828
2009年	教員数	199	231	255	267	268	302	371	392	403	410	411
	コマ数	393	456	523	563	571	795	990	1047	1082	1100	1105
2010年	教員数	275	339	375	391	393	571	478	490	499	507	
	コマ数	582	713	807	866	875	1232	1379	1453	1515	1558	

【SPIRIT MAIL利用者数(月間ユニーク数)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2008年度	-	-	-	-	4,656	6,415	7,234	7,229	7,427	7,604	5,206	5,450
2009年度	8,830	8,891	9,578	10,186	6,078	7,923	9,999	10,335	10,296	10,662	7,909	8,133
2010年度	12,359	12,613	13,006	13,582	9,086	11,340	12,799	13,117	13,018	13,406	10,148	12,293

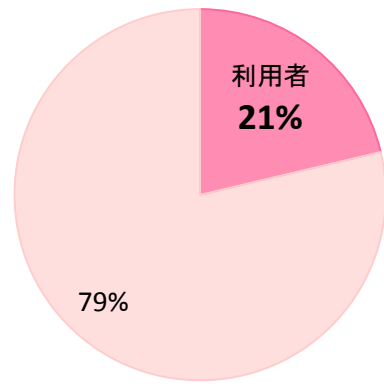


2010年度 利用者の割合



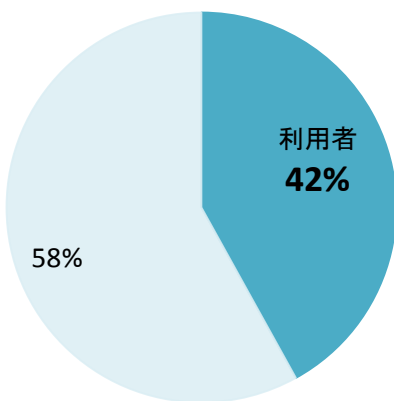
2010年度 全教員数1970人
利用者**502**人(2011年1月31日現在)
前年比**25%増**

2009年度 利用者の割合



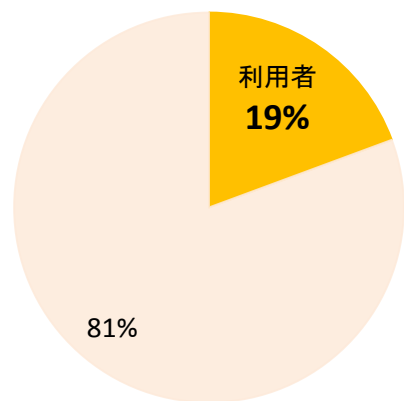
2009年度 全教員数1888人
利用者**402**人(2010年1月29日現在)

2010年度 専任教員の利用の割合



全専任教員数534人
利用者**224**人(2011年1月31日現在)

2010年度 兼任教員の利用割合



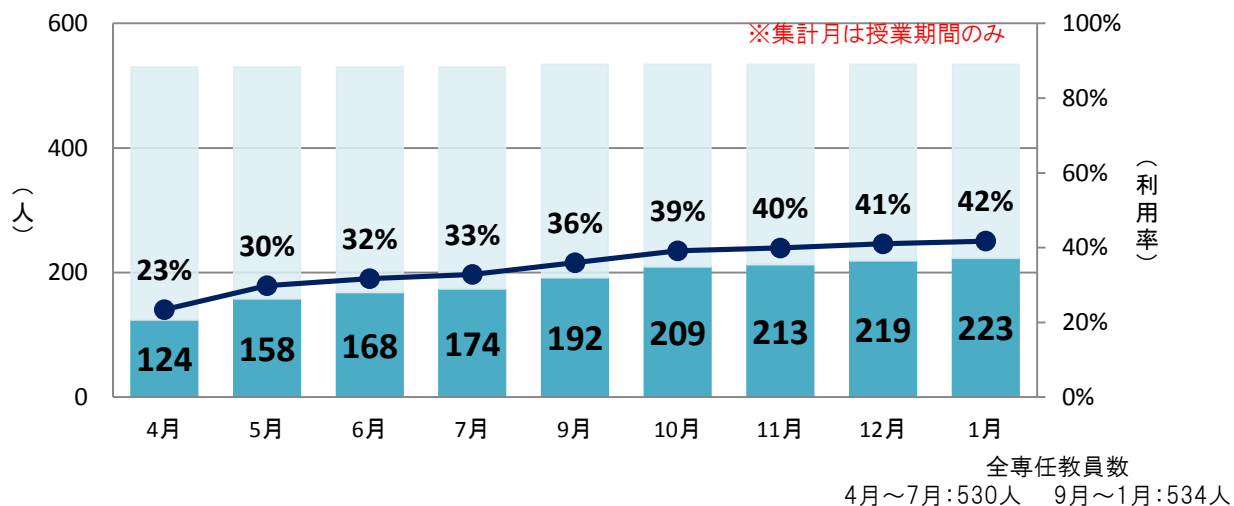
全兼任教員数1436人
利用者**278**人(2011年1月31日現在)

利用者の定義

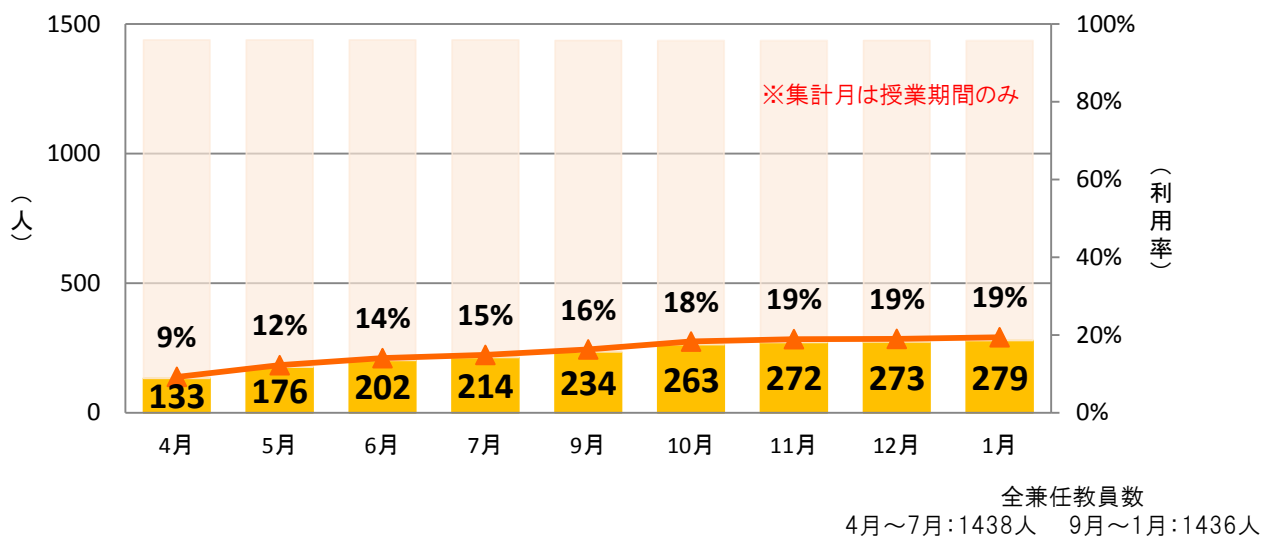
- 編集回数が1回以上の教員
- 2科目以上担当されている場合、そのうち1科目でも編集回数が1回以上の教員

2010年度 CHORUS利用状況

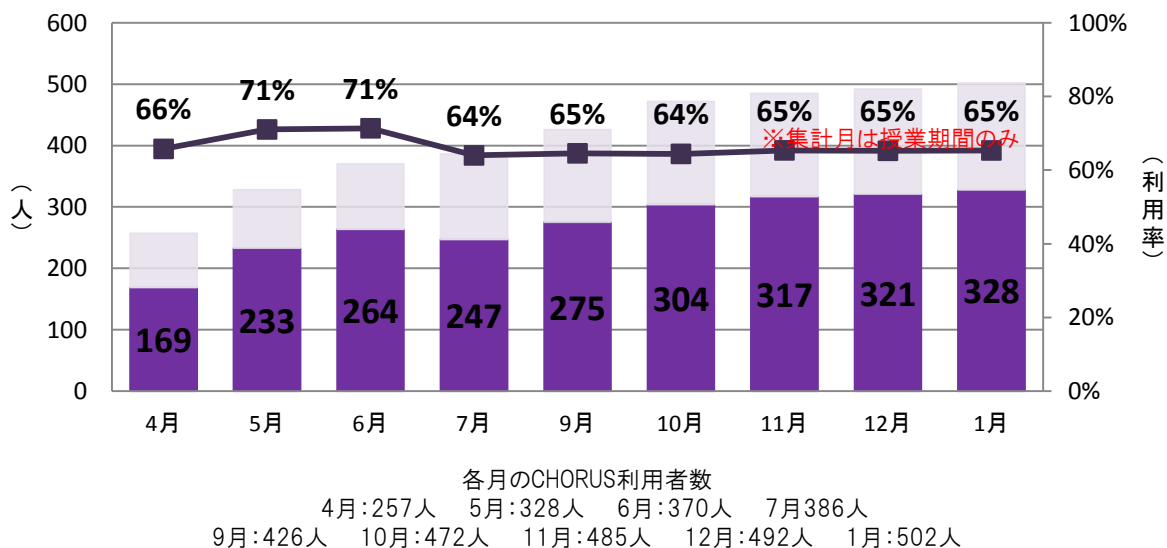
専任教員の利用の推移



兼任教員の利用の推移

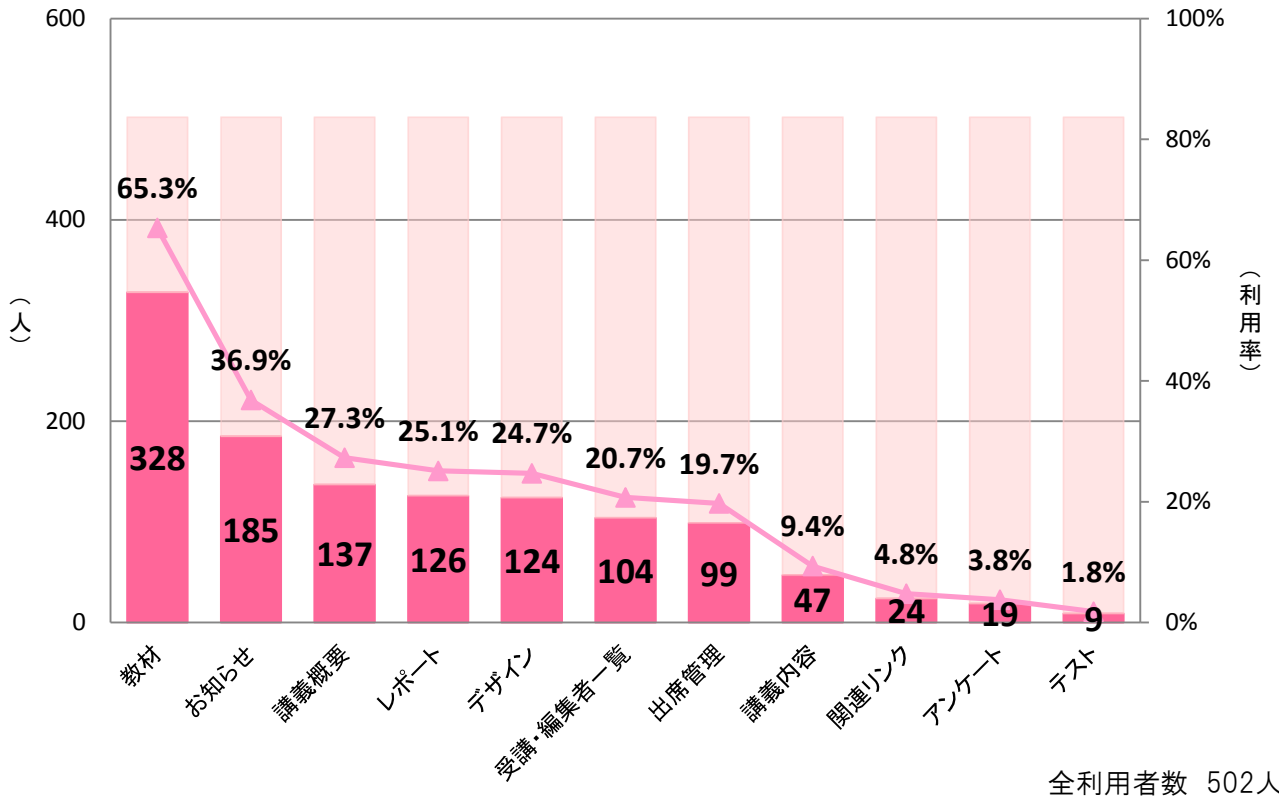


教材の利用の推移

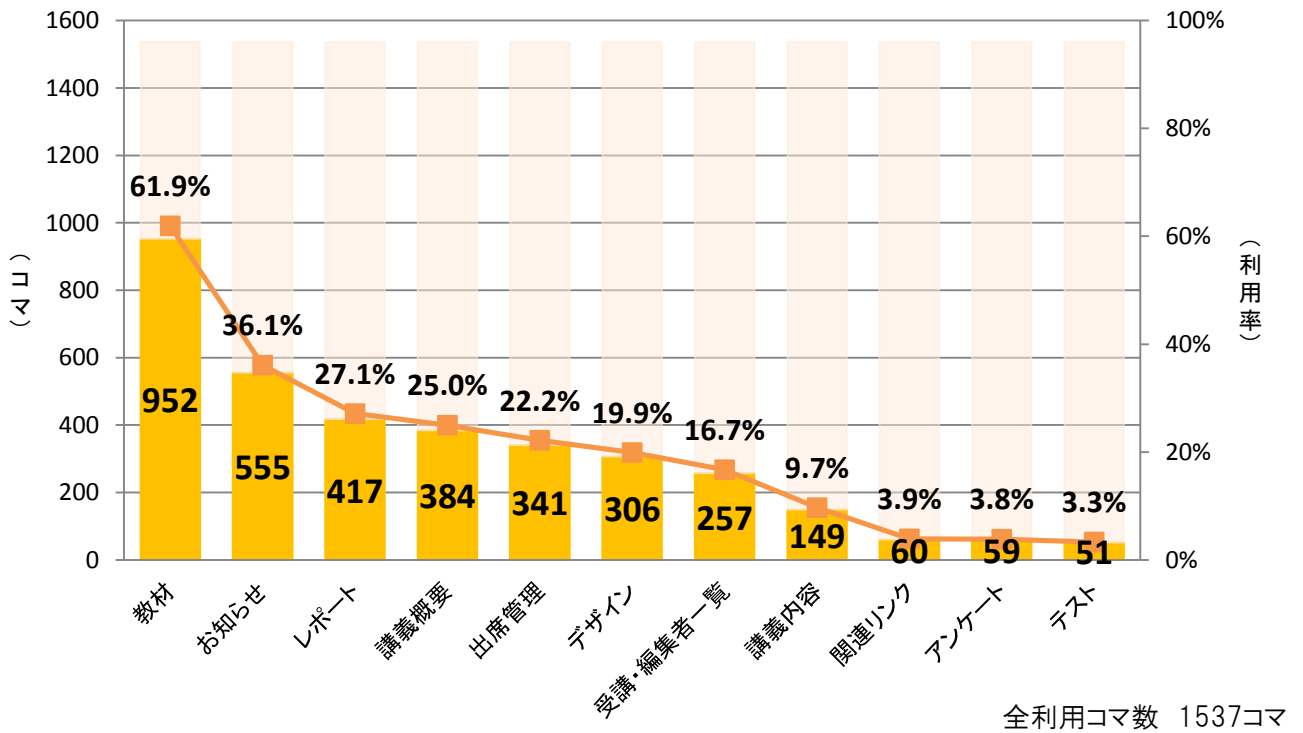


2010年度 CHORUS機能別利用状況

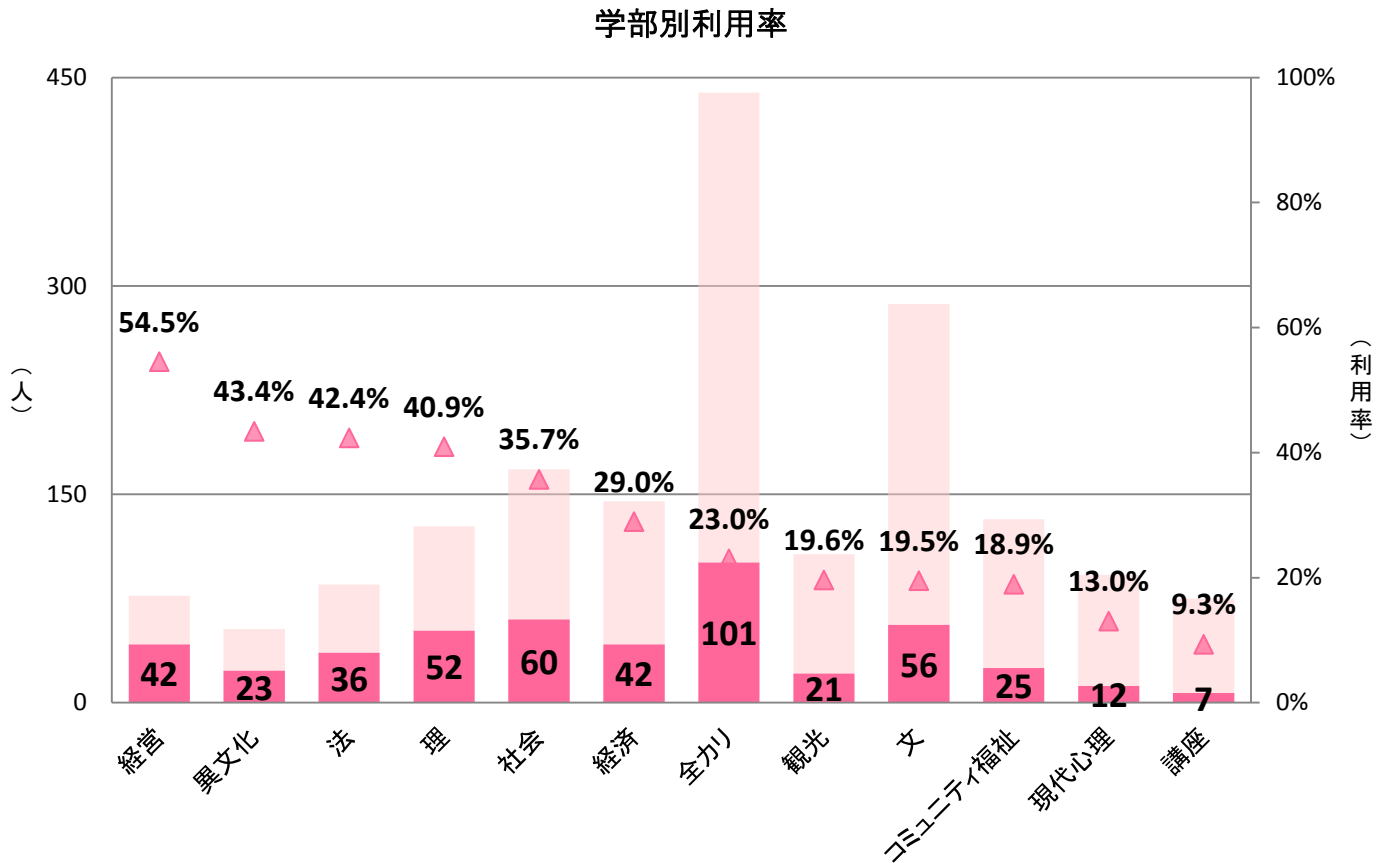
機能別利用者のべ数



機能別利用コマのべ数



2010年度 CHORUS学部別利用状況

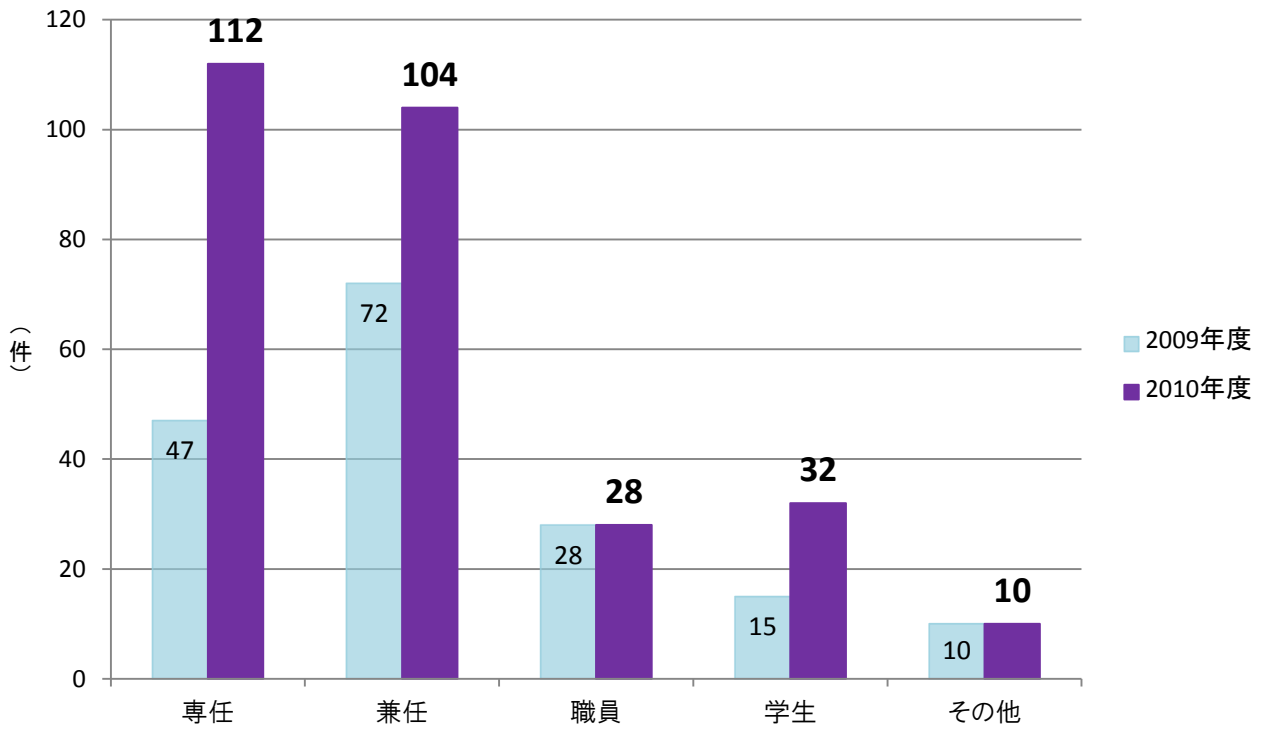


各学部の利用者数

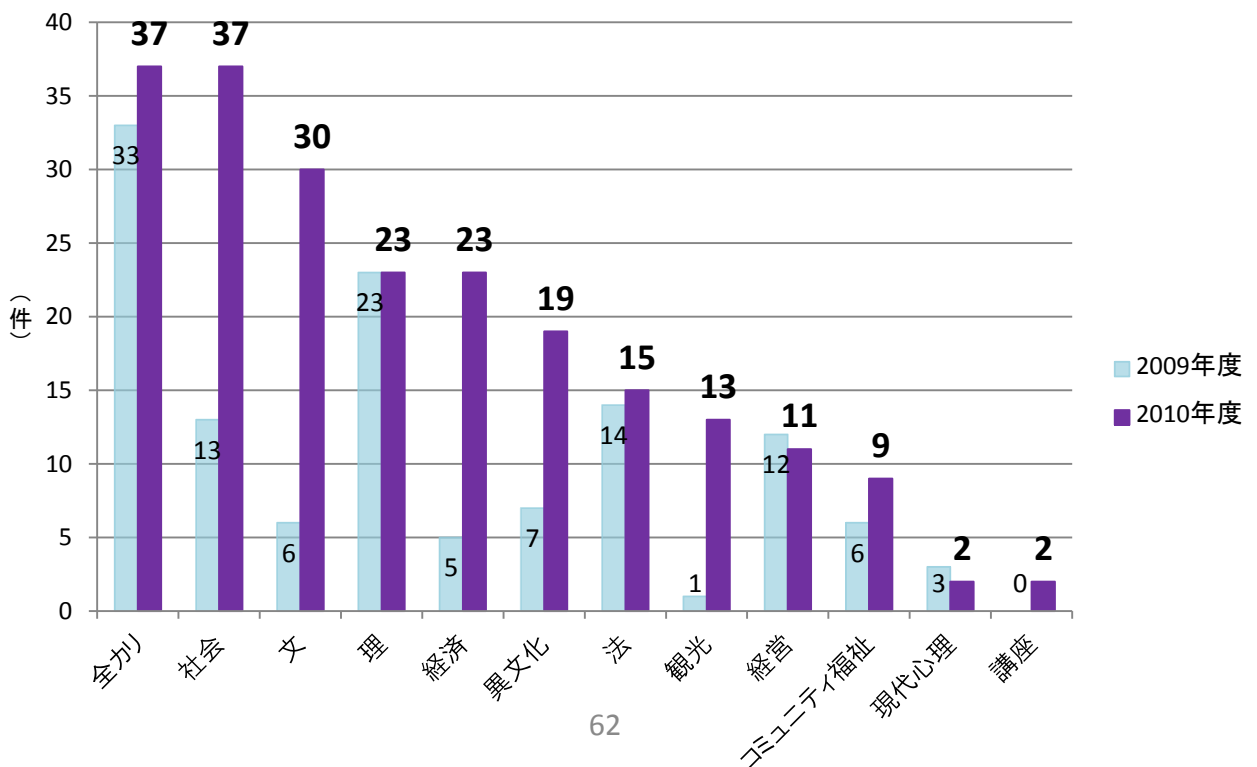
経営学部	： 42人(全77人)
異文化コミュニケーション学部	： 23人(全53人)
法学部	： 36人(全85人)
理学部	： 52人(全127人)
社会学部	： 60人(全168人)
経済学部	： 42人(全145人)
全学カリキュラム	： 101人(全439人)
観光学部	： 21人(全107人)
文学部	： 56人(全287人)
コミュニティ福祉学部	： 25人(全132人)
現代心理学部	： 12人(全92人)
講座	： 7人(全75人)

2010年度 CHORUS問い合わせ状況

■職種別問い合わせ件数

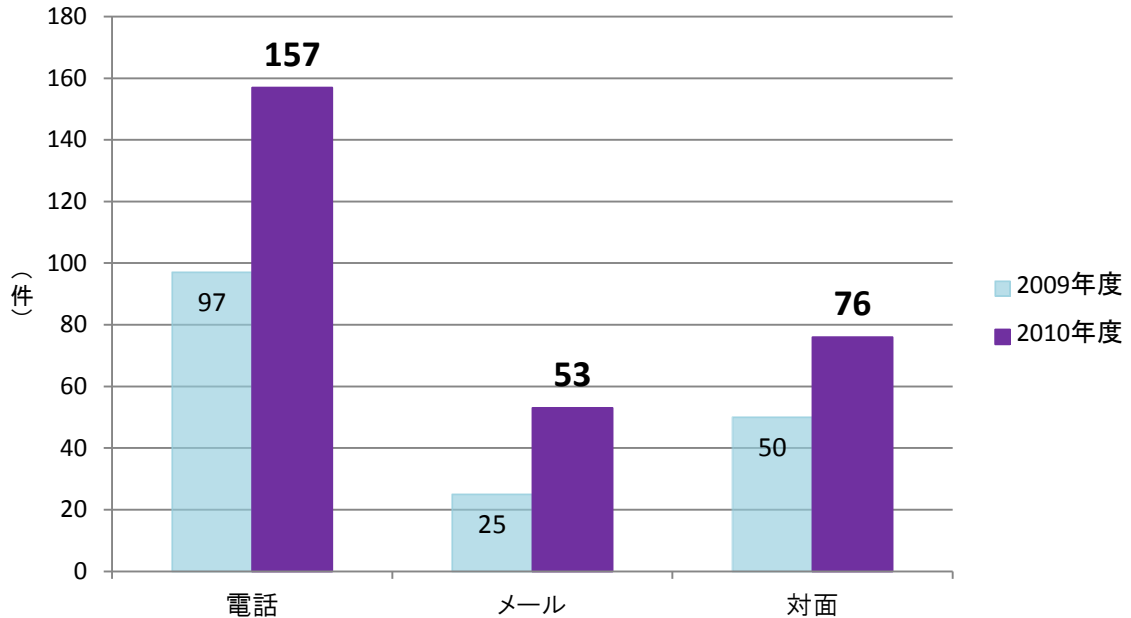


■学部別問い合わせ件数

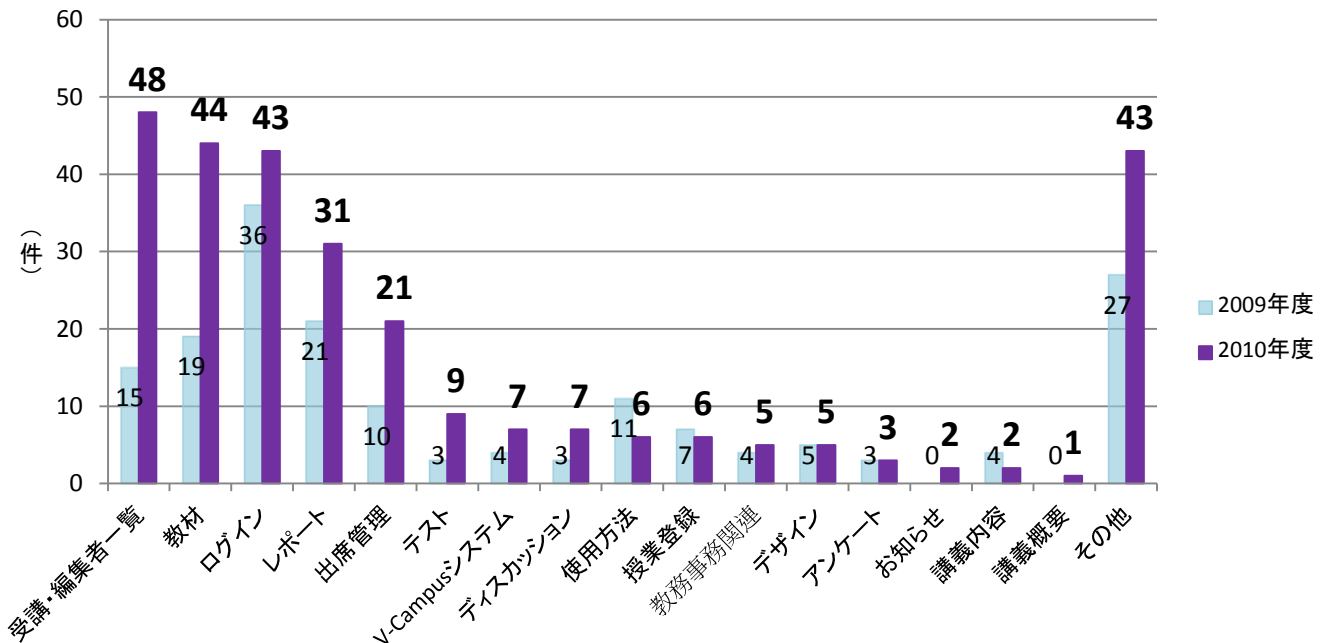


2010年度 CHORUS問い合わせ状況

■窓口別問い合わせ件数



■機能別問い合わせ件数



◆その他(詳細抜粋)

- ・講義まとめの機能について(2件)
- ・説明会の依頼(1件)
- ・CHORUSのシステムエラーに関して(1件)
- ・ゲストIDで閲覧したい(1件)
- ・CHORUSの冊子版のマニュアルはあるか(3件)
- ・履修者全員に一斉にメールを送ることはできるか(2件)
- ・授業及び履修者の登録時期について(3件)

【PCLL教室利用／運用状況】

2010年度前期(AVシステム無し)

(単位:コマ)

	CALL	AV	合計
月	12	－	12
火	10	－	10
水	13	－	13
木	8	－	8
金	8	－	8
土	5	－	5
合計	56	－	56

2010年度後期

(単位:コマ)

	CALL	AV	合計
月	2	4	6
火	5	5	10
水	8	2	10
木	5	6	11
金	3	5	8
土	2	5	7
合計	25	27	52

注. e-learning等の統合授業は、1コマとしてカウント

【PCTラブル状況(PC教室)】

	教室PC	ラーニングスペース	貸出PC	プリンタ	サーバなど
2010年度	13件	3件	11件	20件	2件

内訳

(教室PC)

故障日	機種	理由	場所
20100403	HP Compaq 6710b	キートップ外れ	8号館8303教室
20100403	HP Compaq 6710b	液晶不良	8号館8304教室
20100413	HP Compaq 6710b	キートップ外れ	8号館8303教室
20100415	HP Compaq 6710b	キートップ外れ	8号館8303教室
20100701	HP Compaq 6730b	液晶パネル破損	教卓PC
20100701	HP dx7500SFF	電源不良	教卓PC1202
20100701	HP Compaq 6710b	外部モニタ出力不良	教卓PC
20100729	HP Compaq 6710b	水分による故障	8号館8304教室
20100729	HP Compaq 6710b	HDD不良	8号館8304教室
20101120	dell Optiplex 755	マザー不良	8号館8301教室
20110204	HP Compaq 6710b	液晶不良	8号館8304教室
20101001	TOSHIBA SSRX1SA106E	カバー破損	新座：メディアセンター
20101001	TOSHIBA SSRX1SA106E	キーボード接触不良	新座：メディアセンター

(ラーニングスペース)

20100801	iMac	HDD不良?	8号館2Fラーニングスペース
20110131	Wyse	落下破損	8号館3Fラーニングスペース
20110131	Wyse	落下破損	8号館5Fラーニングスペース

(貸出PC)

20100513	HP Compaq 2230s	HDD不良	学生向け貸出PC
20100603	HP Compaq 2230s	HDD不良	学生向け貸出PC
20100726	HP Compaq 2230s	HDD不良	学生向け貸出PC
20100728	HP Compaq 2230s	HDD不良	学生向け貸出PC
20100803	HP Compaq 2230s	HDD不良	学生向け貸出PC
20100810	HP 2140	液晶、ヒンジ破損	学生向け貸出PC
20101013	Lenovo ThinkPad X100	キーボード接触不良+	図書館貸出
20101029	HP 2140	液晶、ヒンジ破損	学生向け貸出PC
20101116	Lenovo 2000v300	本体電源部分破損	教員向け貸出PC
20101203	HP 2140	HDD不良	学生向け貸出PC
20110120	Lenovo ThinkPad X100	マザーボード不良	学生向け貸出PC

【AVトラブル、サポート状況：池袋】

1. 機材、タイプ別トラブル状況

機材トラブル	トラブル (機材)
2009年前期	168
2009年後期	223
2010年前期	123
2010年後期	133

【表1 機材トラブル】

サポート	使用説明	セッティング 及び使用 説明	トラブル (操作ミ ス)	そ 他
2009年前期	34	464	202	34
2009年後期	56	432	306	32
2010年前期	32	584	287	112
2010年後期	86	466	216	108

【表2 機材サポート】

サポート	マイク	PC	プロジェ クター	DVD	ブルーレイ	ビデオ	OHC	DVビデオ	電子ホー ド	その他
2009年前期	101	357	190	109	0	40	95	29	5	5
2009年後期	63	540	120	78	4	20	61	63	7	14
2010年前期	69	511	192	147	20	44	101	104	5	56
2010年後期	66	460	99	112	26	32	85	124	1	61

【表3 機材別サポート】

機材トラブル	マイク	PC	プロジェ クター	DVD	ブルーレイ	ビデオ	OHC	DVビデオ	電子ホー ド	その他
2009年前期	28	77	35	17	0	10	13	0	2	0
2009年後期	28	124	30	14	2	12	5	1	7	1
2010年前期	35	23	14	7	1	5	7	0	2	18
2010年後期	28	45	20	9	3	5	7	1	1	14

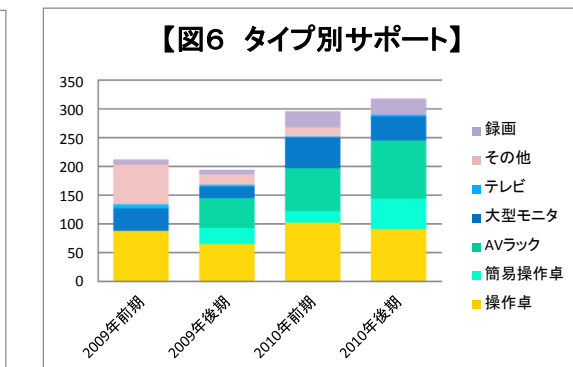
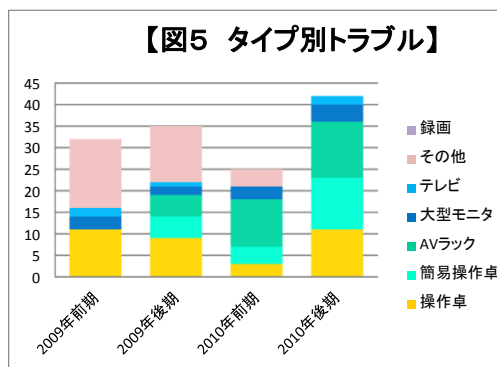
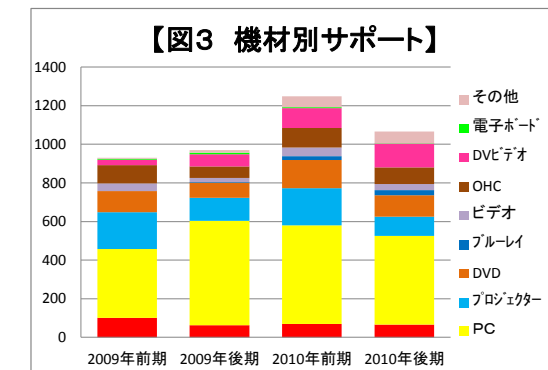
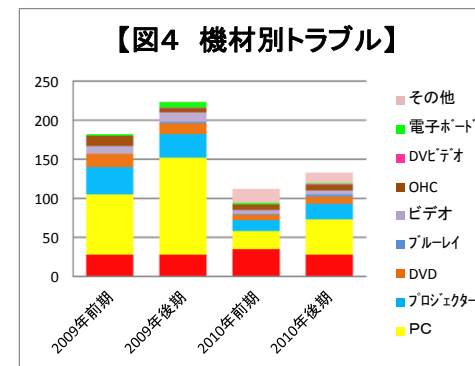
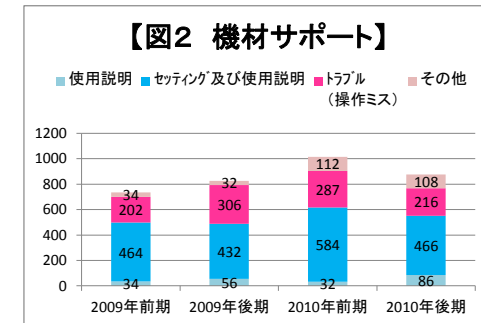
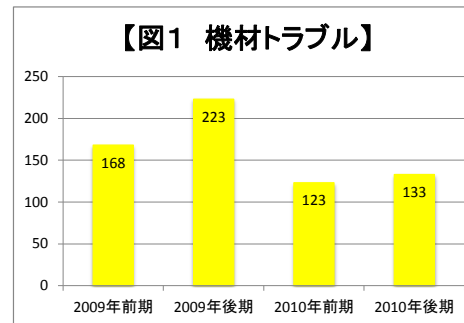
【表4 機材別トラブル】

機材トラブル	操作卓	簡易操作卓	AVラック	大型モニタ	テレビ	その他	録画
2009年前期	11	0	0	3	2	16	0
2009年後期	9	5	5	2	1	13	0
2010年前期	3	4	11	3	0	4	0
2010年後期	11	12	13	4	2	0	0

【表5 AVタイプ別トラブル】

全サポート	操作卓	簡易操作卓	AVラック	大型モニタ	テレビ	その他	録画
2009年前期	88	0	0	39	7	69	9
2009年後期	65	28	52	20	3	18	8
2010年前期	102	20	75	53	2	16	28
2010年後期	91	53	101	42	3	0	28

【表6 AVタイプ別サポート】

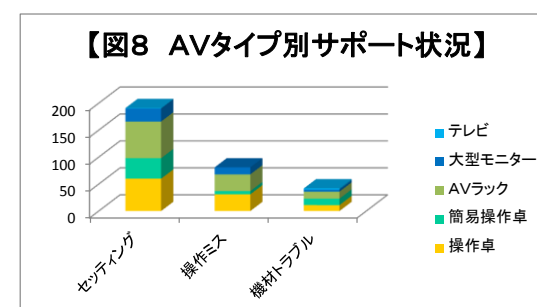
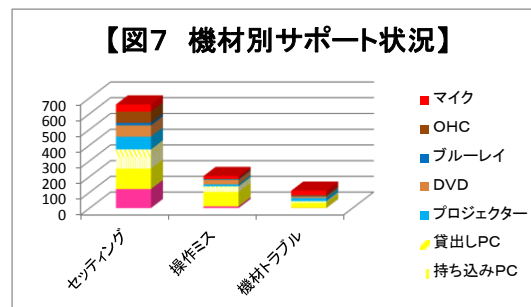


	セッティング	操作ミス	機材トラブル
操作卓	60	31	11
簡易操作卓	38	6	12
AVラック	68	31	13
大型モニター	24	13	4
テレビ	1	0	2

【表7 AVタイプ別サポート状況】

	セッティング	操作ミス	機材トラブル
DVカメラ	121	11	1
常設PC	130	92	32
持ち込みPC	74	27	8
貸出しPC	48	9	3
プロジェクター	81	12	20
DVD	72	29	9
ブルーレイ	16	4	3
OHC	72	3	7
マイク	45	17	28

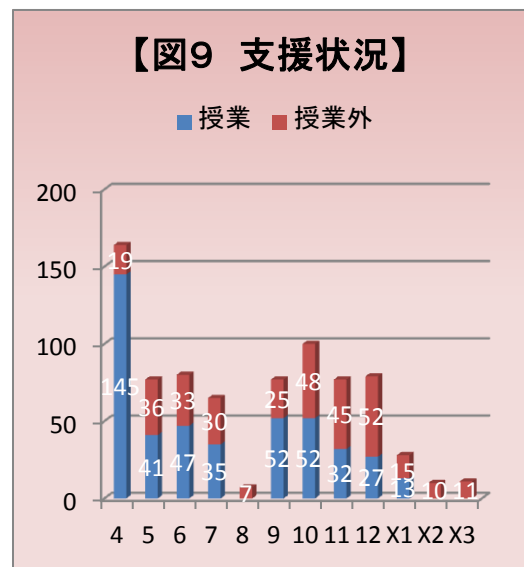
【表8 機材別サポート状況】



2. 月別トラブル状況

月	授業	授業外	サポート合計
4	145	19	164
5	41	36	77
6	47	33	80
7	35	30	65
8	0	7	7
9	52	25	77
10	52	48	100
11	32	45	77
12	27	52	79
X1	13	15	28
X2	0	10	10
X3	0	11	11
合計	444	331	775

【表9 支援数】



	合計	太刀川	8101	8202→ N213	8201→ 8202, 9大	タッカ ホール →8101	タッカー ホール→ 7101	チャペル →1206
同時通訳	10	4	6					
配信	14			8	1	1	1	3
中継録画	111							

【表10 2010年度中継録画、配信、同時通訳システム利用】

4月	各部ガイダンス	マイク、プロジェクター設営
	学生証交付	プロジェクター、OHC設営
	セカンドステージ大学入学式	配信、中継録画
	入学アドバイザー研修	録画
5月	首都圏教育懇談会	マイク、プロジェクター設営
7月	前期試験	マイク設営
	オープンキャンパス	マイク、プロジェクター設営
10月	首都圏教育懇談会	マイク、プロジェクター設営
	法務研究科入試	マイク設営
	ホームカミングデー	マイク設営
	学園祭	機材貸出し他
11月	首都圏教育懇談会	マイク、プロジェクター設営
	秋季入試	マイク設営
	イルミネーション点灯式	マイク設営他
12月	ハンドベルクリスマスコンサート	配信
	クリスマスイブ礼拝	マイク設営
1月	学生体育会総会	配信
	レポート提出	カセット再生他
	学年末試験	マイク設営
2月	入試	マイク設営
3月	卒業式	配信、マイク設営

【表11 主な学校行事支援】

3. 学会講習会別サポート状況

月日	依頼主	内容	学校行事	講演会	授業	会議他	場所	サポート内容
2010/04/01(木)	教務部	学生証交付	1				5121～5123	プロジェクターおよびOHC
2010/04/02(金)	人文科学系事務室	新入生ウエルカムアワー	1				タッカーホール	
2010/04/03(土)	学校・社会教育講座	ガイダンス	1				タッカーホール	
2010/04/03(土)	セカンドステージ大学	入学式	1				チャペル→1206	同時配信
2010/04/05(月)	人文科学系事務室	史学部ガイダンス	1				タッカーホール	
2010/04/13(火)	経営学部	BL2合同授業		1			タッカーホール	
2010/04/20(火)	経営学部	基礎演習合同授業		1			タッカーホール	
2010/04/23(金)	理学部栗田先生	放射線医療物理学演習		1			C303	グリックカー
2010/04/24(土)	英語ディスカッションセンター	“1st Teacher Observation”		1			7B棟、X201	
2010/05	全カリ	ドイツ語		1			録音室	テストCD作成
2010/05/01(土)	ラテンアメリカ研究所	映画上映	1				8201	
2010/05/06(木)	澤先生	現代社会と環境		1			8201→8202、9000	同時配信
2010/05/10(月)	レディスクラブ	公開講演会		1			校友会館2階	
2010/05/10(月)	文学部 上田先生	「南インド古典音楽講演会」		1			7102	
2010/05/10(月)～20(木)	入学センター	「入学アドバイザー研修」	1				D301、D401	DVカメラ 中継録画
2010/05/11(火)	キャリアセンター	「インターンシップガイダンス」		1			AB01	録画
2010/05/18(火)～毎週火曜日	総長室	赤レンガ講座		1			8202、新座N213教室	同時配信 中継録画
2010/05/18(火)	キャリアセンター	インターンシップランチャイムセミナー		1			D201、8101	DVカメラ 中継録画
2010/05/21(金)	経営学部	国際経営会議		1			8101	DVカメラ 中継録画 同通
2010/05/22(土)	渉外課	首都圏4年次教育懇談会	1				タッカーホール	
2010/05/22(土)	キャリアセンター	公開講演会	1				8101	
2010/05/25(金)	総長室	TV会議		1			太刀川2階第1応接室—新座7号館2階	DVカメラ 中継録画
2010/05/26(水)	経営学部	TV会議		1			D301	
2010/05/28(金)～06/03(木)	英語ディスカッションセンター	2nd Teacher Observation		1			7B棟	プロジェクター投影
2010/05/29(土)	オハラ・タイアン先生	英語海外研修プログラム		1			8501、8502	
2010/05/29(土)	21世紀社会デザイン研究所	公開講演会		1			D201	DVカメラ 中継録画
2010/05/31(月)～06/08(火)	経営学部 Allan Bird先生	集中講義	1				A202、X106、X206	
2010/06	全カリ	中国語		1			録音室	テストCD作成
2010/06/01(火)	ジェンダーフォーラム		1				X103	マイク、ミキサー
2010/06/05(土)	異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション学会	1				8101	DVカメラ 中継録画 同通
2010/06/08(火)	キャリアセンター	インターンシップランチャイムセミナー		1			8101	DVカメラ 中継録画
2010/06/12(土)	入学センター	高校教員対象説明会	1				タッカーホール	
2010/06/16(水)	鳥飼先生	英語教育研究会公開講演会	1				5322	録画
2010/06/19(土)	独研	オープン大学ウィーク「特別体験授業」	1				8101	DVカメラ 中継録画
2010/06/19(土)	ラテ研	「ラテンアメリカ講座受講生セミナー」公開講演会	1				8304	DVカメラ 中継録画
2010/06/19(土)	メディアセンター	第4回大学情報サミット大会		1			太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2010/06/22(火)	基礎演習18クラス	同時カメラ撮影	1				18教室	DVカメラ設置と撤収
2010/06/22(火)	キャリアセンター	「第1回就職ガイダンス」	1				タッカーホール	録画
2010/06/23(水)	キャリアセンター	「第1回就職ガイダンス」	1				タッカーホール	録画
2010/06/24(木)	キャリアセンター	留学と就職ガイダンス」	1				5223	録画
2010/06/25(金)	キャリアセンター	日経新聞の読み方	1				AB01	録画
2010/06/26(土)	21世紀社会デザイン研究所	公開講演会	1				D501	DVカメラ 中継録画
2010/06/28(月)	キャリアセンター	今から始める公務員試験対策		1			5224	録画
2010/06/29(火)	キャリアセンター	第1回女子就職ガイダンス	1				タッカーホール	録画
2010/07/01(木)～07/08(木)	英語ディスカッションセンター	“3rd Teacher Observation”		1			7B棟	
2010/07/03(土)	キャリアセンター	国家公務員ガイダンス	1				セミナー室	録画
2010/07/03(土)	異文化コミュニケーション	学会	1				12号館地下会議室	プロジェクター設置
2010/07/03(土)	ラテンアメリカ研究所	公開講演会	1				8201	DVカメラ 中継録画
2010/07/05(月)	キャリアセンター	「第2回就職ガイダンス」	1				タッカーホール	録画
2010/07/06	キャリアセンター	「第2回就職ガイダンス」	1				タッカーホール	録画
2010/07/06(火)	経営学部	基礎演習合同授業	1				タッカーホール	PJ
2010/07/06(火)・07(水)	英語ディスカッションセンター			1			構ビル	プロジェクター、DVカメラ他
2010/07/07(水)	学生部	会議		1			太刀川第1会議室	…TV会議
2010/07/09(金)	ジェンダーフォーラム	公開講演会	1				7101	DVカメラ 中継録画
2010/07/10(土)	ラテンアメリカ研究所	シンポジウム	1				7102	DVカメラ 中継録画
2010/07/14(水)				1			太刀川第1会議室	
2010/07/17(土)	社会学部メディア社会学科 橋澤先生	シンポジウム	1				5222	マイク設置
2010/07/20(火)	教務部試験グループ	前期末試験マイク設置	1				各教室	有線マイク
2010/07/22(木)	教務部	GP報告会	1				太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2010/07/24(土)	教務部試験グループ	中国語統一試験	1				各教室	ラジカセ
2010/07/26(月)	独立研究所	公開講演会	1				太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2010/07/29(木)	社会情報教育センター	統計教育フォーラム	1				8501	
2010/07/29(木)	キャリアセンター	研修	1				D201	
2010/07/31(土)	入学センター	オープンキャンパス準備	1				各教室	
2010/07/31(土)	学生部	フレンドリーズキャンプ出発式	1				タッカーホール	
2010/08/01(日)～08/03(火)	入学センター	オープンキャンパス	1				操作卓教室	使用説明
2010/08/04(水)・05(木)	社会学系事務室	CUNY Program		1			12号館2階会議室	プロジェクター
2010/08/23(月)	文学部依野元春先生	NHKライブ	1				AB01	卓操作説明 マイク音調節
2010/08/31(火)	文学部依野元春先生	NHKライブ	1				AB01	卓操作説明 マイク音調節
2010/09/01(水)	キャリアセンター	大学職業指導研究会	1				5123	ポータブルマイクアンプ
2010/09/10(金)	ESD研究センター	地球市民会議2010年	1				8101	DVカメラ 中継録画 同通
2010/09/10(金)	観光学部 舩谷先生	日本オーストラリア・歴史学会	1				7101他7号館	ポータブルマイクアンプ
2010/09/10(金)	英語ディスカッションセンター	授業デモ	1				構ビル	DVカメラ
2010/09/11(土)	異文化コミュニケーション 平賀先生	日本認知言語学会	1				AB01他	ポータブルマイクアンプ
2010/09/12(日)	異文化コミュニケーション 平賀先生	日本認知言語学会	1				AB01他	ポータブルマイクアンプ
2010/09/12(日)	社会学部 桜井先生		1				ノートPC	
2010/09/12(日)	コミュニティ福祉学科	水から考えた都会と山	1				8101	DVカメラ 中継録画 同通
2010/09/14(火)	キャリアセンター	研修	1				D201	DVカメラ 中継録画
2010/09/17(金)	経済学部 デウイット先生	立教SERと独エーベルと財団の支援によるシンポジウム	1				太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画 同通
2010/09/17(金)	国際センター	skype会議	1				太刀川多目的ホール	ノートPC
2010/09/17(金)	英語ディスカッションセンター	授業デモ	1				構ビル	DVカメラ
2010/09/21(火)	経営学部	BL2授業	1				タッカーホール	プロジェクター
2010/09/21(火)	観光研究所	使用説明	1				7101	操作卓
2010/09/21(火)	キャリアセンター	インターンシップ事後研修	1				太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2010/09/22(水)	理学部	南極から見る地球環境	1				8303	DVカメラ 中継録画
2010/09/27(月)	キャリアセンター	外国人留学生就職ガイダンス	1				X305	録画出力端子数股 DVカメラ録画
2010/09/27(月)	総務課		1				チャペル	ICレコーダー録音
2010/09/28(火)	キャリア教育 市川照彦	授業	1				7101	DVカメラ 中継録画
2010/10/02(土)	法務研究科	法務研究科一般入試	1				AB01、A204他	有線マイク
2010/10/02(土)	経営学部 日向野先生	ゼミ	1				第1食堂	プロジェクター
2010/10/04(月)～10/13(水)	英語ディスカッションセンター	Teacher Observation(全42クラス)	1				7号館B棟	DVカメラ
2010/10/05(火)～10/07(木)	キャリアセンター	就職ガイダンス	1				タッカーホール	DVカメラ
2010/10/08(金)	ランゲージセンター 林先生	ドイツ語中間テスト録音テープ作成	1				録音室	録音
2010/10/09(土)	大生先生	Skypeによる会議	1				12号館2階会議室	パソコン
2010/10/09(土)	経済学部 郭先生	小林昇名譽教授をしのぶ会	1				太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2010/10/12(金)・18(月)	キャリアセンター就職支援課	業界研究セミナー	1				AB01	DVカメラ
2010/10/13(水)	ランゲージセンター 林先生	ドイツ語中間テスト録音テープ作成	1				録音室	録音
2010/10/14(木)	キャリアセンター就職支援課	女子就職ガイダンス	1				9大	DVカメラ 中継録画
2010/10/14(木)・19(火)	キャリアセンター就職支援課	ステップアップ講座	1				5号館セミナー室	DVカメラ
2010/10/16(土)	渉外課	首都圏3年次教育懇談会	1				タッカーホール	プロジェクター
2010/10/16(土)	文学部 高尾先生	ロシア史研究会	1				D401 D501	マイク
2010/10/23(土)	法務研究科	法務研究科入試	1				5122他	有線マイク
2010/10/23(土)	嶋山先生	オルガンライブ	1				チャペル	録音
2010/10/23(土)	独研	環境と文学の間	1				D201	DVカメラ 中継録画
2010/10/24(日)	渉外課	ホームカミングデー	1				タッカー AB01 8201	マイク
2010/10/25(月)	ESD研究センター	環境就職セミナー	1				太刀川多目的ホール	
2010/10/26(火)		しごと研究セミナー	1				8202	
2010/10/27(水)	総長室	平和を祈るタペ	1				チャペル→1206	パソコン
2010/10/27(水)	学生相談室	発達障害に関する講演会	1				太刀川多目的ホール	同時配信
2010/10/28(金)	AIRC事務室	AIRC国際シンポジウム	1				太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2010/11/01(月)	法学部	バーディー	1				太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画 同通
2010/11/02(火)	キャリアセンター	企業研究セミナー	1				廊下	プロジェクター PA一式
2010/11/02(火)	文学部 井出先生	公開講演会	1				大教室	操作卓使用方法
2010/11/05(金)～11/07(土)	企画部渉外課	首都圏1年次教育懇談会	1				12号館地下第1、2会議室	プロジェクター
2010/11/06(土)	経営学部	経営学部父母懇談会	1				タッカーホール	ノートPC
2010/11/06(土)	渉外課	首都圏教育懇談会	1				8304	プロジェクター
2010/11/06(土)	ラテンアメリカ研究所	第41回現代のラテンアメリカ講演会	1				タッカーホール	プロジェクター
2010/11/06(土)			1				D401	DVカメラ 中継録画

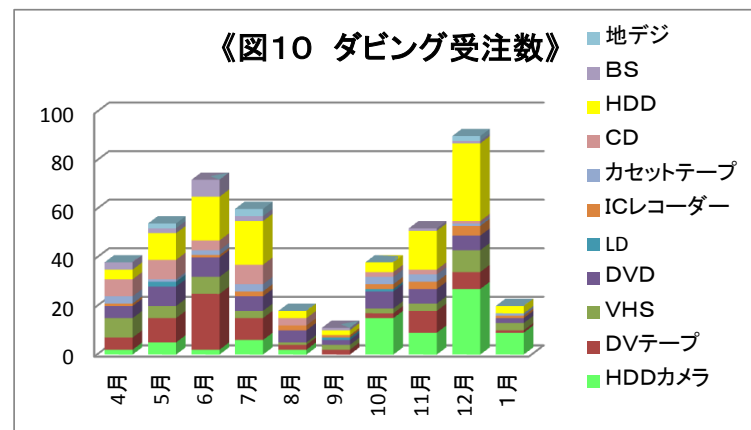
月日	依頼主	内容	学校行事	講演会	金庫他	場所	サポート内容
2010/11/06(土)	大学チャレン室	募金支援コンサート		1		チャペル	録音
2010/11/06(土)	立教学院事業部	司法書士研修会		1		AB01	ポータブルマイクアンプ
2010/11/06(土)	独研	21世紀社会デザイン研究科公開講演会		1		8201	DVカメラ 中継録画
2010/11/09(火)	キャリア教育オフィス	映像を通して働くことについて考える		1		7101	DVカメラ 中継録画
2010/11/09(火)	キャリアセンター就職支援課	企画講座		1		7102	DVカメラ 中継録画
2010/11/09(火)、11(木)、16(火)	キャリアセンター	仕事研究セミナー他		1		AB01	録画
2010/11/11(木)	観光学部	観光教育イニシアティブ		1		太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2010/11/11(木)	アメリカ研究所	シンポジウム		1		8202	DVカメラ 中継録画
2010/11/11(木)、18(木)、25(木)	英語ディスカッションセンター	Discussion Class		1		7号館B棟	DVカメラ
2010/11/13(土)	コミュニティ福祉学部 湯沢先生	シンポジウム		1		8202	マイク
2010/11/13(土)	経営学部 松本先生	豊島区ディベートフェスタ		1		太刀川多目的ホール	マイク
2010/11/13(土)	独研	異文化コミュニケーション学科公開講演会		1		8101	DVカメラ 中継録画 同通
2010/11/13(土)	社会学部 横濱先生	シンポジウム「竹山をかたる」				5121	マイク
2010/11/16(火)、19(金)、25(木)	英語ディスカッションセンター	会議		1		橋ビル	DVカメラ ポータブルマイクアンプ
2010/11/17(火)	経営学部	経営学部連続講演会		1		タッカーホール	プロジェクター
2010/11/18(木)	レディクラブ	講演会		1		校友会館2階	プロジェクター
2010/11/18(木)	学生部 学生生活課	薬物乱用防止講演会		1		8202	DVカメラ 中継録画
2010/11/18(木)、26日(金)	キャリアセンター	仕事研究セミナー他		1		8101	DVカメラ 中継録画
2010/11/18(木)～11/26(金)	ESD研究センター	環境教育論		1		X204	録画
2010/11/18(木)～11/26(金)	キャリアセンター	仕事研究セミナー他		1		太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2010/11/19(金)	社会学部 三浦先生	公開講演会		1		D201	スライドコンバーター
2010/11/20(土)	学生部	秋季入試		1		8101 5号館 10号館	マイク設置
2010/11/23(火)	企画部	キリスト教学校教育同盟記念講演会		1		タッカーホール	プロジェクター
2010/11/25(木)	アジア地域研究所	映画上映会		1		太刀川多目的ホール	Marantz
2010/11/25(木)	学生相談所	公開講演会		1		8202	ICレコーダー
2010/11/27(土)	コミュニティ福祉学部湯沢先生	公開講演会		1		タッカーホール	プロジェクター
2010/11/29(月)	クリスマス実行委員会	イルミネーション点灯式		1		本館前	有線マイク
2010/11/29(月)	キャリアセンター	仕事研究セミナー他		1		9大	DVカメラ 中継録画
2010/11/30(火)	経営学部 大山先生	農業政策論		1		AB01	クリッカー
2010/11/30(火)	アメリカ研究所	シンポジウム		1		AB01	録画
2010/12/01(水)	21世紀社会デザイン研究科	公開講演会		1		8101	DVカメラ 中継録画 同通
2010/12/01(水)	キャリアセンター	第4回就職ガイダンス		1		タッカーホール	DVカメラ
2010/12/01(水)	経営学部 松本先生	豊島区ディベートフェスタ		1		太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2010/12/02(木)	チャペル	RUM講演会		1		チャペル	ICレコーダー用ケーブル
2010/12/02(木)	キャリアセンター	第4回就職ガイダンス		1		タッカーホール	DVカメラ
2010/12/02(木)	人権センター	講演会「キャンパス・ハラスメント、いかに防ぐか」		1		太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2010/12/02(木)、09(木)、14(火)、16(木)、21(火)	英語ディスカッションセンター	授業撮影(オープンキャンパス資料用)		1		7B棟 S102	DVカメラ
2010/12/03(金)	キャリアセンター	シンポジウム		1		太刀川多目的ホール	VARDIA TV会議
2010/12/03(金)	キャリアセンター	教職セミナー		1		タッカーホール	DVカメラ
2010/12/04(土)	異文化コミュニケーション学部 浜崎先生	講演会		1		12号館地下第1、2会議室	プロジェクター ノートPC(Mac) Marantz
2010/12/04(土)	ラテンアメリカ研究所	公開講演会		1		7102	DVカメラ 中継録画
2010/12/04(土)	ランゲージセンター	大柴杯		1		D501	DVカメラ 中継録画
2010/12/04(土)、05(日)	経済学部 谷ヶ城先生	国際シンポジウム		1		太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画 同通
2010/12/08(火)	キャリアセンター	仕事研究セミナー		1		5222	DVカメラ
2010/12/08(火)	キャリアセンター	公開講演会		1		D201	DVカメラ 中継録画
2010/12/09(木)	文学部史学科	史料ゼミ説明会		1		タッカーホール	パソコン
2010/12/09(木)	理学部 北本先生	立教学院理科学研究会勉強会		1		12号館地下第1、2会議室	プロジェクター
2010/12/10(金)	経済学部 疋田先生	2010Collage Bowl Quiz Event		1		9大	持込み機材
2010/12/10(金)	キャリアセンター	シンポジウム		1		D301	DVカメラ 中継録画
2010/12/11(金)～12/21(月)	ランゲージセンター 林先生	ドイツ語リスニングテスト		1		録音室	録音、編集
2010/12/11(土)	学生部	ハンドベルクリスマスコンサート		1		チャペル→1206	同時配信
2010/12/11(土)	ESD研究センター	アジアと日本を結ぶ国際フォーラム		1		太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画 同通
2010/12/11(土)	学生部	応援団団祭		1		タッカーホール	CDラジカセ
2010/12/11(土)	ランゲージセンター	FDセミナー		1		D401	DVカメラ 中継録画
2010/12/11(土)	人文科学系事務室	立教比較文明学会総会		1		太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2010/12/13(月)	異文化コミュニケーション学部 鳥飼先生	連続公開講演会		1		X104	DVカメラ
2010/12/14(火)	経営学部 大山先生	農業政策論		1		AB01	クリッカー
2010/12/14(火)	異文化コミュニケーション学部 鳥飼先生	連続公開講演会		1		4411	DVカメラ 中継録画
2010/12/15(水)	異文化コミュニケーション学部 堀井先生	中国語リスニングテスト		1		録音室	録音、編集
2010/12/15(水)	異文化コミュニケーション学部 鳥飼先生	連続公開講演会		1		D502	DVカメラ
2010/12/16(木)	学生部	キャロリング		1		池袋西公園	ポータブルマイクアンプ スピーカー
2010/12/16(木)	異文化コミュニケーション学部 鳥飼先生	連続公開講演会		1		太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2010/12/18(土)	キャリアセンター	仕事研究セミナー		1		8202	
2010/12/18(土)	ラテンアメリカ研究所	劇上映 公開講演会		1		太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2010/12/18(土)	キャリアセンター	仕事研究セミナー		1		8101	DVカメラ 中継録画
2010/12/18(土)	異文化コミュニケーション学部 堀井先生	授業		1		8201	DVカメラ 中継録画
2010/12/19(日)、20(月)	異文化 石坂先生コミュニケーション学部	朝鮮語リスニングテスト		1		録音室	録音
2010/12/24(金)	チャペル	クリスマスライブ礼拝		1		タッカーホール	マイク設置
2011/01/10(月)～01/14(金)	文学部 川久保先生	授業発表		1		11号館ロビー	制作および展示サポート
2011/01/11(火)	経営学部	B1合同授業		1		タッカーホール	プロジェクター クリッカー
2011/01/11(火)	英語ディスカッションセンター	授業撮影(オープンキャンパス資料用)		1		7251	DVカメラ
2011/01/11(火)	社会学部 水上先生	公開講演会		1		D201	DVカメラ 中継録画
2011/01/15(土)	学生部	学生体育会総会		1		タッカーホール7101	同時配信
2011/01/15(土)	教育学部 前田先生	音楽会		1		9号館大教室	マイク
2011/01/17(月)	キャリアセンター	公務員業務説明会		1		太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2011/01/19(水)	教務事務センター	レポート提出		1		タッカーホール	カセットデッキ(録り直し再生)
2011/01/20(木)	キャリアセンター	ステップアップ講座		1		太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2011/01/21(金)	教務事務センター	学年末試験マイク設置		1		各教室	有線マイク
2011/01/22(土)	教務事務センター	中国語統一テスト		1		各教室	有線マイク CDラジカセ設置
2011/01/22(土)	総務課	辻・三浦賞授賞式		1		チャペル	プロジェクター
2011/01/26(水)	キャリアセンター	ステップアップ講座		1		太刀川多目的ホール	DVカメラ 中継録画
2011/01/26(水)	キャリアセンター	会議		1		太刀川多目的ホール	TV会議システム
2011/01/29(土)	社会学部 田北先生	メディアゼミフォーラム		1		7102	DVカメラ 中継録画
2011/02/04(金)	学生部	入試マイク設置		1		各教室	有線マイク
2011/03/24(木)、25(金)	渉外部	卒業式		1		タッカーホール→8101	同時配信
毎水曜3限	教務課	全カリ		1		タッカーホール	
毎火曜2限	教務課	農業経済論		1		タッカーホール	PC
毎火曜2限	教務課	職業と人生		1		タッカーホール	PC
毎金曜4限	教務課	対人関係と自己理解		1		タッカーホール	PC、WLタイピン
毎月曜2限	教務課	理学とキャリア		1		タッカーホール	カメラ撮影
毎月曜3限	教務課	パフォーマンス文化論		1		タッカーホール	OHG
毎木曜4限	教務課	現代社会と環境		1		タッカーホール	OHG

4. ダビング発注数

(1)受注数

変換元	詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
教材	HDDカメラ	2	5	2	6	2	0	15	9	27	9
	DVテープ	5	10	23	9	2	2	2	9	7	1
	VHS	8	5	7	3	1	2	2	3	9	3
	DVD	5	8	8	6	5	2	7	6	6	2
	LD	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0
	ICレコーダー	1	0	1	2	2	1	2	3	4	1
	カセットテープ	3	1	2	3	0	0	3	3	1	1
	CD	7	8	4	8	3	0	2	2	1	0
中継録画	HDD	4	11	18	18	3	2	4	16	32	3
TV録画	BS	3	2	7	2	0	1	0	1	1	0
	地デジ	0	2	0	3	0	0	0	0	2	0
集計		38	55	72	61	18	11	38	52	90	20

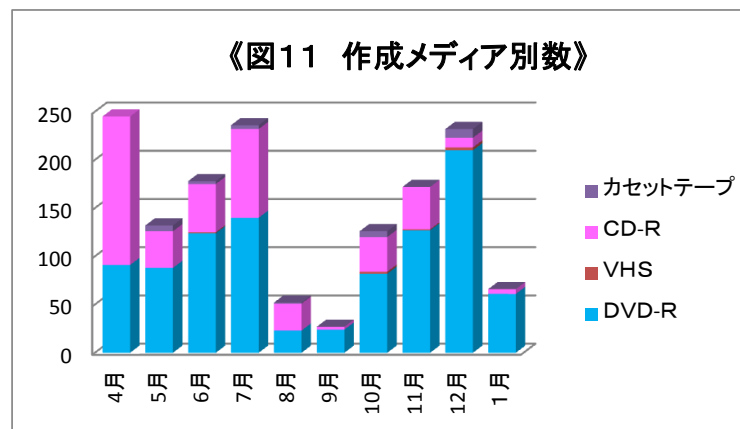
【表12 2010年度ダビング受注数】



(2)作成数

メディアの種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
DVD-R	91	88	124	140	23	24	82	127	210	61
VHS	0	0	1	0	0	0	2	1	3	0
CD-R	154	38	50	92	28	3	36	44	10	5
カセットテープ	0	6	3	4	1	0	6	0	9	0
集計	245	132	178	236	52	27	126	172	232	66

【表13 2010年度ダビング作成数】



(3)変換形式

変換形式	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
DVD-Video	88	66	98	120	14	18	47	103	181	56
MPEG4	1	4	1	3	0	0	0	6	2	2
MPEG2	1	2	11	11	4	0	2	3	8	0
WMV	0	4	7	5	4	3	15	3	51	3
WMA	4	57	2	37	27	1	4	5	5	1
WAV	86	13	10	6	1	1	13	3	3	4
MP3	0	0	2	0	0	1	25	2	2	0
JPEG	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0
集計	180	146	131	182	52	24	106	129	253	66

【表14 2010年度ダビング変換形式】

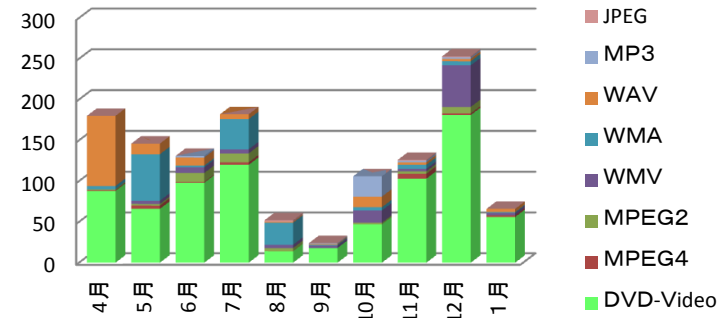
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月
2009年	21	42	54	53	21	100	78	82	50
2010年	38	55	72	61	11	38	52	90	20

【表15 ダビング受注数2期比較】

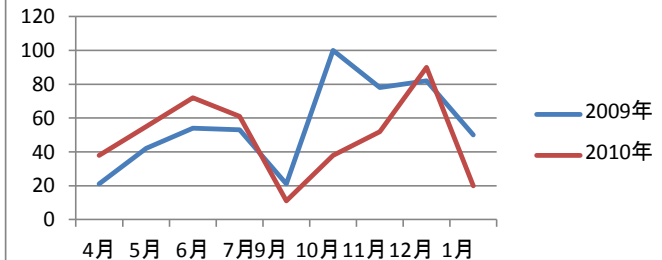
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月
2009年	85	262	80	127	51	173	194	240	101
2010年	245	132	178	236	27	126	172	232	66

【表16 ダビング作成数2期比較】

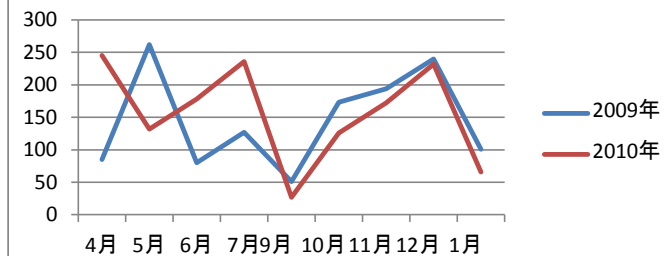
《図12 変換形式別作成数》



【図13 ダビング受注数比較】



【図14 ダビング変換数比較】



【その他サポート状況】

・2010年4月～2011年2月までの対応件数

OSセットアップ・トラブル	3
アプリケーションインストール・不具合	4
ネットワーク設定・トラブル	19
ハードウェアセットアップ・故障	8
プリンタ設定・印刷設定	26
メール設定・トラブル	10
無線LAN設定・不具合	12
AV関係問い合わせ	34
IPアドレス申請	32
ITスキルアップ講習会問い合わせ	4
PC教室関連問い合わせ	56
V-CampusID/Password問い合わせ	34
ウイルス対策ソフト問い合わせ	24
学生貸出PC問い合わせ	45
教員貸出PC問い合わせ	32
その他問い合わせ	104

情報企画委員会記録

1. 情報企画委員会 構成員

役割	所属	氏名
委員長	法学部	原田 久
委員	経済学部	疋田 康行
	経営学部	日向野 幹也
	異文化コミュニケーション学部	小林 悦雄
	観光学部	佐藤 大祐
	経営学部	山口 和範
	理学部	家城 和夫
	文学部	石川 巧
	文学部	青木 康
	総務部	牛崎 進
事務局	メディアセンター課長	宮内 文隆
	メディアセンター担当課長	毛利 立夫
	メディアセンター課員	根岸 千佳
	メディアセンター課員	藤森 将仁
	メディアセンター課員	饒村 良司

2. 会議開催記録

■第1回 情報企画委員会議	
日時	2010年5月19日(水) 14:00～15:00
場所	太刀川記念館2階会議室
出席	原田久、疋田康行、日向野幹也、佐藤大祐、山口和範、家城和夫、石川巧、青木康、牛崎進(順不同、敬称略)
欠席	小林悦雄(順不同、敬称略)
事務局	宮内、毛利、根岸、藤森、饒村
議事	◇報告事項 1. 委員長報告 2. メディアセンター長報告 3. 社会情報教育研究センター報告 4. 私立大学情報教育協会 理事会報告 ◇事務局報告 1. 2010年度情報企画委員会企画について 2. 大学情報サミット大会開催について 3. 運用報告 4. 障害報告 ◇議案事項 1. 「PCLL 教室システムの機種更新の検討について」の答申案について ◇協議事項 1. 情報企画委員会の組織体制・規程について

■第2回 情報企画委員会議	
日時	2010年10月26日(火) 12:30～14:00
場所	太刀川記念館2階会議室
出席	原田久、疋田康行、日向野幹也、小林悦雄、山口和範、家城和夫、石川巧、青木康、牛崎進(順不同、敬称略)
欠席	佐藤大祐(順不同、敬称略)
事務局	宮内、毛利、根岸、藤森、饒村

議事	◇報告事項
	1.私立大学情報教育協会 理事会報告 2.社会情報教育研究センター報告
	◇協議事項
	1.2011 年度情報企画委員会企画について
	◇事務局報告
	1.補助金申請／結果報告 2.私情協セキュリティチェック結果報告 3.メディアセンター報告 4.V-Campus 運用報告

■ 第 3 回 情報企画委員会議	
日時	2010 年 11 月 24 日（水） 18:10 ～ 19:30
場所	太刀川記念館 2 階会議室
出席	青木康、原田久、疋田康行、家城和夫、小林悦雄、佐藤大祐（順不同、敬称略）
欠席	日向野幹也、石川巧、牛崎進、山口和範（順不同、敬称略）
事務局	宮内、毛利、根岸、藤森、饒村
議事	◇報告事項
	1.私立大学情報教育協会 理事会報告
	◇協議事項
	1.2011 年度情報企画委員会企画について 2.2012 年度更新予定 V-Campus システム(V-Camput5th)の総長諮問につ いて
	◇事務局報告
	1.PC 教室利用者アンケート結果報告

【アンケート調査】

PC教室利用アンケート

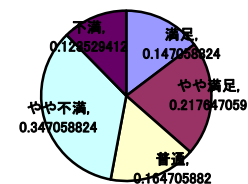
アンケート回答日時 11/4～11/30

アンケート対象: 大学生・院生

有効回答数: 170件

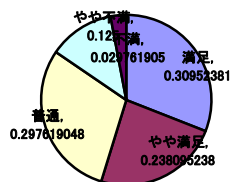
台数に関して	全体		ほぼ毎日	週1～2回	月1～2回	年1～2回	ていない
満足	15%	25	1	16	8	0	0
やや満足	22%	37	1	28	7	0	0
普通	16%	28	3	18	5	2	0
やや不満	35%	59	9	33	11	6	0
不満	12%	21	4	9	7	0	1

PC台数の満足度



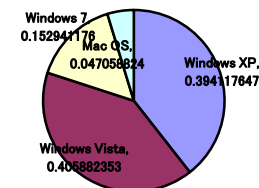
什器に関して	全体	
満足	31%	52
やや満足	24%	40
普通	30%	50
やや不満	13%	21
不満	3%	5

PC教室什器満足度



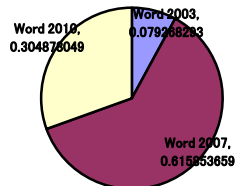
OS使用割合	全体		1年生	2年生	3年生	4年生	院生
Windows XP	39%	67	31	17	9	8	2
Windows Vista	41%	69	21	20	17	10	1
Windows 7	15%	26	9	8	4	4	1
Mac OS	5%	8	2	2	4	0	0

OS使用割合

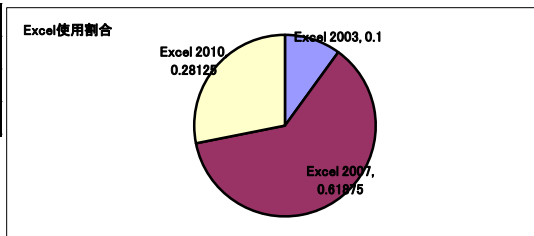


使用バージョン: Word	全体		1年生	2年生	3年生	4年生	院生
Word 2003	8%	13	5	5	1	1	1
Word 2007	62%	101	32	28	22	16	3
Word 2010	30%	50	25	13	8	4	0

Word使用割合



使用バージョン:Excel	全体		1年生	2年生	3年生	4年生	院生
Excel 2003	10%	16	5	8	1	1	1
Excel 2007	62%	99	32	26	22	16	3
Excel 2010	28%	45	23	11	8	3	0



導入希望アプリケーション	件数
Adobe photoshop	9
Adobe illustrator	4
Google Chrome	3
Evernote	2
ホームページビルダー(他教室も)	2
Adobe flash	1
マインスイーパ	1
Safari	1
tex	1
タイピングソフト	1
FirefoxのAdd-onの保存	1
一太郎	1
IEとFirefox以外のブラウザ	1
Itune	1
語学学習用教材	1
SonicStage	1
ホームページ編集ソフト	1

メディアセンター年報 2010 年度 <創刊号>

2011 年 8 月 31 日 発行

2011 年 11 月 24 日 改訂

発行者	宮内 文隆
編集者	饒村 良司
発行所	立教大学 メディアセンター 〒171-8501 東京都 豊島区西池袋 3-34-1 TEL 03-3985-2905